



當今百八十餘萬の日本婦人は擧て「クラブ洗粉を愛用せり」

●顔の色を白くするに

新しき空気と好む洗粉は自然に皮膚の色が良くなり現に舶來石粉を多く用ひて居る方があるが、之れは美身料と言ふ方から考へますと實に無効なので御婦人方のお顔に舶來石粉を使ふ事が段々廢たれ其代り西洋に於て學理上から研究され近頃日本に於て盛んに流行して居るのは善良なる洗粉であります即ち顔や髪又は皮膚を洗ふには是非善良なる洗粉を選んで用ひねばなりません

●皮膚を美しくする洗料

世界最近の學理的研究の上に於て一番良き洗粉と申しますのは先づ二種よりほかに無いのです此一種は佛蘭西のリンゴボーダーと稱し又一種は夫れよりも更に優れる十一種の原料を集め最新學理を應用したクラブと云ふ名高い洗粉であります此洗粉は新聞を御覧になる方は既に實用せられて居るでしやうが實に彼のクラブと云ふ洗粉は石鹼や又他の洗粉よりも美身料として餘程優つて居る品で官中の女官方を始め貴族の御料として廣く歐米にまで評判されて居ります

●如何にして色を美しくするか

美を保つに新しき空気はクラブ洗粉の如く何故に必要なるか御婦人方は必ず毎朝少くとも三十分位新鮮なる空気を呼吸せられ朝夕クラブ洗粉を洗はれたらば決して澤山の化粧品や白粉を使はせぬ色も美しくし得る事と云ふ生じた色を消へたりする事が出来るのであります新しき空気は健康を増して自然皮膚の色を美しくすると云ふ内部から効驗のある美身法であるクラブの方は皮膚の表から美を加ふる力を以て居りますから兩方の内一方を缺いては美しくなれません此の美身法はクラブと新鮮の空気に限るのである此の如き洗粉は他の洗粉の及ばない又た石鹼などのまねの出来ない點がある云ふ事は恰も酸素の缺乏した空気が美を害すのと同じであります

●健康は皮膚の美を増す

所が新鮮なる空氣を得るのは海岸か山野に出て酸欠の缺乏した空氣を吐き出して新らしき空氣を呼吸するのである尤も都會の地では公園の樹木の多い所が一番宜しいのです忙がしい御方はそらく毎日お出かけはむづかしいでしやうから朝早く太陽に向つて深く呼吸せらるゝが一番ですそうして常にクラブと云ふ洗粉を使はれたらば知らずくの間少しづづ色が白くなりすす然し

●印度人や鳥を白くするのではない

唯だ美少年美少女時代の色は生理上必ず年毎に段々と艶を失ひ又皮膚を悪くするのでありますから如何なる方でも子供の時は顔の色が今よりもつと美しく又白くあつたのです夫れだから花の如き少女の艶や雪の如き少年の美を再び現はすのが何よりの必要でありますそして美身術の目的は皮膚の艶を永く保たし美しくするのが第一であります

●クラブ洗粉は美身術に効あるか

前に書いてある通り帝國化粧品俱樂部のクラブは日本一の洗粉で有名で中山太陽堂や三越呉服店を始め各化粧品店にも買つて居りますが此洗粉は「ゴースト」に比し位の分量を掌の中に入れて水か湯を倍程加へ薄く解いたものを顔や髪又は皮膚等をよく洗ふのであります顔に美しく艶を現はす事は一二回試用すれば直ちに分ります

如斯盛なる愛用者あり進歩せる小賣店諸氏は此の注文に應ずるに多大の準備を要す

有力にして信用ある各特約店はクラブ洗粉の取引今や空前の盛況を極む

各新聞の賞讃は何か?

日本第一の賣行盛なる

クラブ洗粉!

此の卸店は誰だろーか?

東京を始め各地の

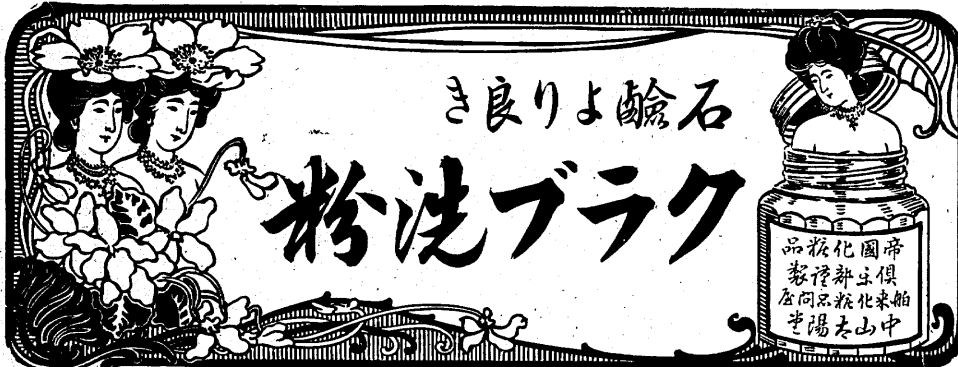
勢力ある化粧品問屋!

如何なる店に多く賣れるか?

信用ある文明的

化粧品小問物店に!

多數の有力なる各特約店の内東京市中の大和屋、佐々木脇田柳下花王堂松井三越森本坂日等の各商店は其店員諸氏と共に最も熱心に本品の爲め盡力せられつゝあり



石鹼よ良き
粉洗ブラク



今同發賣のビューテールオイルは毛髪を助ける植物性油の主成分を採り之れに高尚なる芳香と油の通油性を去るべき薬品とを配合して煉製したる煉油なり

東京日本橋區堤町
井筒本舖 井筒屋香油店
東京日本橋區本町
井筒本舖 井筒屋香油店
東京日本橋區本町
井筒本舖 井筒屋香油店
大阪南久寶寺町四丁目
藤森源之助



東京星野の人造麝香
近來種々の廉製品あり注意の上御求め

日本發賣元 東京市日本橋區 星野與兵衛
伊勢町十七番地

登録商標御注意を乞

永廣堂營業種目

●香料
揮發性芳香油
花油 エッセンス
香水及香脂
動物性芳香物
人造芳香物
其他一般芳香物

●色素
石鹼用色素
飲食物用色素
油用色素

●化粧品原料
舶來類具類
洋紙類
網リボン類
レニス類
洋皮類
舶來アツテル類
同有化粧品各種
輸入化粧品各種
輸出向石鹼各種
輸出向香料各種

永廣堂本店
永廣堂支店
永廣堂支店

大坂市日本橋區 電話東九七八
大坂市南區 電話東九七八
大坂市南區 電話東九七八
大坂市南區 電話東九七八

也色特の店當はと良純の質品と平公の格價

シカゴ
げやみ
まがみは印象
堂筒井藤安

關西代理店
大阪 藤森源之助

列陳の氏吉藤内堀 員合組本

一金五圓	小間物問屋	安井治太郎	スノウ白粉本舖	よしや
一金拾圓	各種インキ本舖	篠崎又兵衛	小間物問屋	木村悦三郎
一金拾五圓	香水各種製造元	高橋志摩五郎	ガマ印齒磨本舖	龜岡龜王堂
一金五圓	リボン問屋	伊藤なか	百助油本舖	中居百助
一金拾五圓	ワッペン石鹼本舖	天野磯五郎	小間物問屋	宮崎元吉
一金拾五圓	石鹼問屋	田中定七	各種造花	柳条三
一金五圓	小間物問屋	中村勝信	紅一	幡野慶

一金五圓	石鹼入問屋	井上小四郎	バンジ白粉本舖	淺田正行
一金五圓	都の花白粉本舖	東京莊園堂	芳香原料	杉村鎌次郎
一金拾五圓	小間物問屋	宮本庄七	一金拾圓	山口幸次郎
一金拾圓	櫻香油本舖	守田重兵衛	一金拾圓	竹間品造
一金貳拾圓	都の花白粉本舖	松井號支店	一金拾圓	丸善株式會社
一金拾五圓	アルボース本舖	扇橋製藥株式會社	衛生煉齒磨本舖	福原有信
一金拾圓	小間物問屋	荒井伊之助	金庫齒磨本舖	平谷合資會社

模偽製品影數付に御注意

發賣元 東京市馬場町三丁目 田中花王堂

透明花しろいコロル

發賣元 東京市馬場町三丁目 田中花王堂

鹿首香水

發賣元 東京市馬場町三丁目 田中花王堂

花ムスク石鹼

發賣元 東京市馬場町三丁目 田中花王堂

製造品廣告

東京市神田區久松町 門町大野金五郎製

めさまし 齒磨 價定二錢より
花王 あらい粉 價定一錢
ツキビシ 白粉 價定十二錢
百猫 おしろい 價定四錢より
ピンク オイル 價定十五錢
オヘアくせ直し 價定一錢
花ムスク石鹼 價定二十錢
月美人化粧下 價定五錢
鹿首香水 價定二錢
透明花しろいコロル 價定一錢

小判石

發賣元 東京市馬場町三丁目 田中花王堂

小判石は皮膚に有効なる原料を用ひ特種
の製方なれば品質良好にして服部たる芳
香を有し能身軀を消滅し艶美の肌へな
らしむ

日本橋區堤町四丁目十七番地
大和屋
中村新十郎

行流新車軒

屋問物間小萬

速迅 持出

目丁巷町山横市京東

郎太治井安

金
請本
武井
石
後
驗

御髪のかせをし一名美男桂
東京市京橋區東三丁目
かつら松澤商店
賣捌は各小間物店賣場店

本銀。洋白。鋼簪
指環根掛類
髪飾附屬品
屋問
東京日本橋區若松町四番地
村上伊太郎

かみし製造屋
製造販賣 錦屋栗野
東京市京橋區西町十四番地
御用向仰付上候 敬白
不御用向仰付上候 敬白
在在 御用向仰付上候 敬白
在在 御用向仰付上候 敬白

歯牙ト
衛生ニ
特効アル
最良ナル
品ナリ
東龜
京岡
堂王

花簪各種
長簪各種
夜會各種
木櫛各種
リボン切地各種
モス切地各種
鏡各種
改良各種
糸巻各種
各種流行新形彫價格他二一歩
モ不調

伊營
勢業
幸品
店錄
洋銀簪各種
曲形各種
紅白粉各種
縫取各種
夜會前髪各種
東屋田保止各種
リボン製各種
各種流行新形彫價格他二一歩
モ不調

清心丹
清心丹
清心丹

本店 東京市下谷區上野町三丁目
西田嘉兵衛
系組組問屋
東京市日本橋區横山町三丁目
西田支店
商系半 西田支店
電話三三三三

一金五圓
小間物問屋 内田幾太郎
一金五圓
小町紅本舖 羽根田作兵衛
一金五圓
屋 滑川源次郎
一金五圓
便利がらす本舖 鈴木歌吉
一金四拾圓
各種石鹼製造 若山初五郎

本組合員方波見善藏氏陳列

一金貳拾圓
プレスト洗粉本舖 山本玉川堂
一金拾圓
開花香油本舖 栖原市太郎
一金拾圓
小間物問屋 前川忠兵衛
一金貳拾圓
蜜甲問屋 河田政治郎
一金五圓
小間物問屋 高橋春吉
一金拾圓
あせしらす本舖 徳田多助

一金拾五圓
キルチム本舖 井上鍵太郎
一金五圓
各種石鹼製造 天野辨吉
一金五圓
各種石鹼製造 一柳信次郎
一金拾五圓
各種石鹼製造 柏木卷太郎
一金參拾圓
ホーサン石鹼本舖 尾澤良輔
一金五圓
各種石鹼製造 福田鶴吉

組合録事
五月十五日 組合員移轉
舊住所 神田區末廣町十番地
新住所 下谷區南新橋町十一番地
氏名 松屋橋郎君
右の通り移轉の旨届出ありたり
○五月二十日 組合員淺草區須賀町二番地
福見善助君先月死去令弟定助君相繼の旨届
出ありたるを以て左の弔詞に香奠を贈る
弔詞
東京小間物化粧品卸商組合は組合員福見
善助君の長逝を追悼し恭く弔詞を呈す
明治四十七年五月二十日

CHEMIST SOAP
消毒用 頭れすいあ
世界無比の石鹼
ケイト下石鹼
化粧料 全國到處の
藥種店及化粧品店に在り

登録
新發明
おめめ
化粧品問屋 富士見儀兵衛
かめがし本舖 屋敷花二千百十八番
電話浪花二千百十八番

針問屋
東京市大傳馬町三丁目
住吉屋
上田長右衛門

高菊盛齒磨
元買東菊盛堂

毒水
煉洋
水品
大和局

ブルーケムスク香水

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

獨逸國神品
高橋東
けいり香水

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

京源 河田政治郎

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

高橋東
けいり香水

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

高等高油
三ツリオイル

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

最新流行美顔料
ムリクツル

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

KIREISUI
キレ水

東京日本橋區小傳馬町三丁目
東馬路四丁目
馬路中
馬路西
馬路南
馬路北
馬路東
馬路西

備に逐はれつゝありと云ふ
ハヤローールの新荷着
かの東洋前髪真類多にしていづれも賞
用せらるゝが多き中にも殊に好評を博しつ
ゝある日加商店の輸入元にして日本橋區橋
町なる丸見屋商店の發賣にかゝる米國製東
髪前髪真ハヤローールは東髪の前髪容を並
ぶに最も輕便にして最も有効なるもの、由
にて發賣以來非常の盛況を見しが程なく來
る荷も来る荷も買り盡して輸入の間にも合
はざる程なるが今回も亦一時品切れとなら
んとせしを幸にも過日その新荷到着したれ
ば又一層の賑見を見るに至るべしといへり

●プレスト洗粉の盛況
土込區西五軒町なる山本玉川堂の發賣にか
かるプレスト洗粉はその原料の精選せらる
る最新進歩の製法を用ひることによりて効
能の顯著なるより非常に好評を博しつゝあ
りしが近來各種の洗粉が競うべき數に達し
たるの中に依然として好評を博するのみな
らず却りて一層の盛況を見るに至り今やそ
の製造に追はれつゝ尙ほ且つ供給に窮する
程なりといふ盛況察するに餘ありと云べし

●御園化粧品特別販賣店
御園化粧品は今更いふまでもなきに
とながら其發賣元たる丸見屋商店にては寸
刻の油断なく擴張に努力しつゝあること
は人の知る以るが今同商一層の擴張策と
して販賣店に有利なる方法を案出し販賣上
の便利と利益とを興ふることとなり特別販
賣店を各地に設くるに至れりといふ右販賣

此かつム
は獨逸國
スターア
ボエム社
が紀念發
賣の香水
君々代
のカップ

獨逸國グスタフボエム社が紀念品として
發賣したる最優等君々代香水擴賣の方法と
して發表せられし最新製法カッププレス
の一等賞品たる純金リツカカップは服部
時計店に於て調製中なりしが今同商其工
を終へて之が受取者待ちつゝあるを
右は廿六匁の重量を有しグスタフボエ

君々代香水ゴールデンカ
ップ
ツプレス賞品リツカ

獨逸國グスタフボエム社が紀念品として
發賣したる最優等君々代香水擴賣の方法と
して發表せられし最新製法カッププレス
の一等賞品たる純金リツカカップは服部
時計店に於て調製中なりしが今同商其工
を終へて之が受取者待ちつゝあるを
右は廿六匁の重量を有しグスタフボエ

夏は
德田製

本品賣行きの好季節に相成申候
不相變御引立奉願候

湯上りの時と常ホあせ性の御方使用品

意注物せに 所到國全
りあ店次取

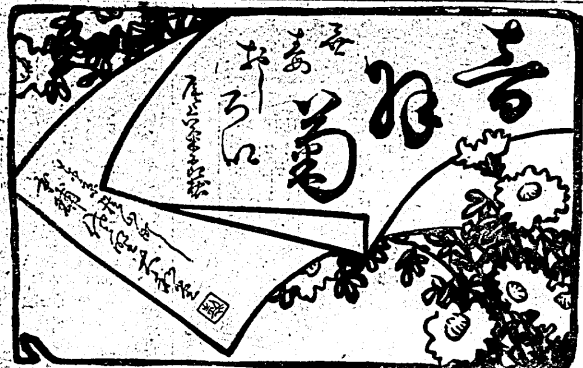
正真無鉛毒
はるのはね

煉水招し急

東京通運町
發賣元大和屋

高橋東
白粉

本舖東京市野天
町七



東京市日本橋區横山町貳丁目角
金森田商會

- 天狗印商品課目**
- メリヤス類一式
 - アミシヤツ類一式
 - 縮シヤツ類一式
 - 沓下
 - 手袋
 - エッ
 - 兵兒帶
 - 綿ハンカチーフ
 - 田胸メ
 - 寝アミ
 - 沓下止
 - 足袋
 - 沓下用賣力パー男女用
- 右誠實を以て大勉強仕候

革葺入各種
煙管筒各種
前金物各種
銀貨入各種

日本橋區通運町七番地
大和屋號
御前 **中山廣太郎**

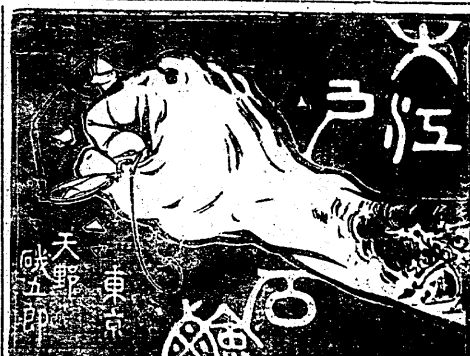
開花香油

セムは二三粒で精神忽ち快活なり
又風土異なる旅の場所には携帶し
常服用せしめば時あたりに
水傷或は流行病の
第一の補助中良劑也
支舖 大阪高麗町二丁目山崎兄弟商會
支舖 東京市日本橋區横山町二丁目山崎兄弟商會

氣分を爽快ならせ
口中を潤し馥郁たる芳香を放つ

THE GEM 懐中薬

セムは二三粒で精神忽ち快活なり
又風土異なる旅の場所には携帶し
常服用せしめば時あたりに
水傷或は流行病の
第一の補助中良劑也



ひるが如き、蓋し讀者の想像するに難からず、而して更に上りては「パアラー」表座敷の外に、「バックパアラー」(寢座敷)あり、應接室、裁縫室、書齋、養花室、特別なる諸室を備ふるものあり。寢室の數も亦増加せらる。

第四 「フラットハウス」
(Flat-House)

「フラットハウス」は、我が棟割長屋に似て非なるものなり。我が棟割長屋は、平屋にして横に長し、彼の「フラットハウス」は縦に高くして、三四層より五六層に及ぶを普通とす、而して我棟割長屋は全く下等人民

右 組合員 野金五郎 氏 大野 治田 氏 左 組合員 田園 氏 右 組合員 氏 左 組合員 氏

の奥庭なるも、彼の「フラットハウス」は、主として中等人士の住する所とす。蓋し「フラットハウス」の式は、一の入口より多數の家族が出入する點に於て、全く蠶の生活に異ならず、且つ内部の組織も、亦單調なるが故に、家庭の趣味は錯雜にして、求むる所なきに似たれども、その經費を省き、輕便にして割合に物質的快適を得らるる點に満足して、人の陸續として之に赴くものあるが如し、市我古市の如く、當米國に於て最俗地と稱せらるる所に在りては、近年此式の家非常に増加して、今や滿都の中等人士を驅て、其の家庭を悉く「フラット」の

北米合衆國に於住宅の狀態
第三 中等社會の標準

亞米利加人の中等生活を營むもの、普通の住宅は二階建なり。地下室を「ダウンセラー」と爲し、客間、食堂、居間、臺所を二階下に設け、化粧間(浴室)と寢室三間とを二階に構ふるを以て常式となす。是より下りては、客間にして居間を兼ね、臺所に於て食堂を併せ、風呂場に洗濯場を兼帯せし

扇問屋

御進物用御姓名入扇は勉強調製仕候

東京市日本橋區堀江町貳丁目
平谷合資會社

電話浪花千五百〇八番

網レース

飾テラ

繁店専門ノ卸類ヲ直輸入スル所ニ本品ヲ博ク海外ニ穿鑿シテ其最モ格安ナル物ヲ仕入致シ既ニ現品到着仕候間發續御注文願上候

日本橋區馬喰町二丁目
伊藤 藤 店

電話浪花九〇一
振替金口四番五

乃木ムスク石鹼

製造本舖 東京 西條

乃木ムスク石鹼は品質の善良なる芳香の佳良なるは一度使用せし人の忘るゝ能はざる所なり。又其の一個毎に大は一錢小は五厘に引替得べき包紙を添付し有るを以て特色となす

定價(大形)一ヶ二十錢
(小形)一ヶ十錢

東京市日本橋區堀江町貳丁目
乃木石鹼堂
電話浪花三〇一

袋物問屋

裂地革類
特別製造

- 紙幣入類
- 銀貨入類
- 煙草入類
- 千代田袋類
- 御守巾着類
- 金具付帶類
- 旅行品 各種

其の他袋物一式
右各種大勉強仕候間多少
共御用命願上候

但し前金を要せず着者の事
東京市横山町一丁目十四番地
製造元

中庄 杉谷庄兵衛
電話浪花(二)千〇四拾番
電話(電)八〇八番
會遠隔地御得意様御便利の爲御
注文品の際は拙店取扱以外の品
にても無手数料にて御買欠ぎ御
回送申上候也

芳香原料

見本函發賣

○定價甲種五圓五十錢(乙種四圓五十錢)丙種二圓五十錢外
に各種壹函に付(小包料金拾錢)

○尙ほ芳香原料定價表は御入用
に應し御送附可仕候

東京日本橋區本石町四丁目
原料商 **松澤常吉**
(振替口座四四四七番
特電本局(二)四五番)

○香水用○石鹼用○白粉用○香
油用○齒磨用○煉油用○洗粉用
○製菓用○インキ用○造花用○
化粧水用○其他

品目

- 紙幣入
- 金貨入
- 巻葉入
- 名刺入
- 其他

東京市横山町一丁目十四番地
電話浪花(二)千〇四拾番
電話(電)八〇八番
會遠隔地御得意様御便利の爲御
注文品の際は拙店取扱以外の品
にても無手数料にて御買欠ぎ御
回送申上候也

スレーキ
羊ムスク

石鹼 馥香 芳

商標

東京日本橋區横山町 清水開花堂

列陳の氏第三郎五池外員合組本

より裏口に通ず、地下室は「ベイスメント」
式に構えたり、茲に家の持主より一家の監
理を委託せられたるもの住居す、之を「ジ
ヤニター」と呼ぶ。「ジヤニター」は家賃受
買行活動なりしが使用方法を十分會得せし
むれば尙一段の活況を呈するに至るべし要
するに創始以來僅に一月の日子を経過す
るのみにして需要の趨勢尙十分ならざれば
進んで細密の調査を要すれども其要旨は概
ね前記の如し故に此際出品者諸君に於ても
十分に其品質価格を吟味し、單に一時的の利
益を目的とせず望を將來に懸くる時は日本
商品の前途頗る有望なるや言を俟たざる所
なり

**韓國向の
日本化粧品**

なる用事を済ませば、越々三四階の高きに
登り登るを要せず、玄關の壁に沿つて左右
二箇の戸は扉鎖されたり、之を第一層に
住する二家族の住宅の入口となす、玄關の
正面の階段は曲尺状に屈折して上り、一層
毎に左右に二家族の入口の戸に接す、此の
如くにして三層の「フラットハウス」には、
六家族を包摂するものとす、而して一家内
の閑取り、家具の配置等は、他の住宅と異
ならず、表通りに面して客間あり、裏通り
に面して寢所あり、寢所の外に數多の板間
を設けて「ポーチ」となし、洗濯日には此處
を物干場となす、「ポーチ」に接したる階段

五建築にして、數十の家族を包摂するあり、
是等は昇降機(Lift)を用ひて一定の時
間中人を上り下す、
(生は前段に於て、亞米利加に於ける中等
社會の住宅の狀態を概略説き盡したり、
尙ほ局部に至りて詳細に説明を要する者
多く是れ有りりと雖も、限りある時日に
於て十分の研究を讀み難きを以て、之を
他日に譲りたり、而して茲に最も緊要な
る左の一項を追加して、一と先づ本報の
報告を終るべし)

て於に會進共二五念紀旋凱
す領受牌銀歩進

リマルホ

市內特約店

- 丸見屋商店 柳下藤五郎
- 平尾 贊平 佐野小兵衛
- 田中吉兵衛 淺井支店
- 仲徳次郎
- 脇田盛真堂 齋藤吉次郎
- 天野瀧五郎 齋藤鐵太郎
- 長瀬富郎 大野金五郎

日乃出がみ

元賣東松
會商嶋

内容○品質優良にして芳香佳味
特色○齒痛其他齒患に効く

ゆり

本舖 井手瑞香堂

白ゆり白粉は東京朝日
萬朝報其他全國新聞に
記載せられたる通り朝日
品及び本邦有名なる白粉
四十四種に付内務省衛生
試験所の試験に於て無鉛
自粉として第一等位に表
せられたる最優等品
白ゆり白粉は東都梨園の
花たる之を、梅幸、高麗
賞用せらる



直船來雜貨
輸入東京日本橋
區橋本町(電話本局
九八六番)谷商店



ブレイクオイル (香油)
東王堂
結飾用
色模染

金銀石附最新田保止

特約發賣元

新

各

種

馬三新吉
鈴木清兵衛

横野源七
本林本支店

馬三新吉
鈴木清兵衛

横野源七
本林本支店

商標 登録
あさひ歯磨

大野金五郎 大野金五郎 大野金五郎
田中定七郎 田中定七郎 田中定七郎
見屋善兵衛 見屋善兵衛 見屋善兵衛
尾井本分店 尾井本分店 尾井本分店

元買發
目丁三町本京東
店支店商屋玉社合名

ひのけス香露良純特品

録登

山田神

製堂候舞歌井沢

標商録登府政本日

FUZIMUSK SOAP

山田篤三

發賣元

東京市日本橋區橋本町四丁目

山田篤三

電話花七二一

驗店クスムジフ

本品は原料精製し製造せしもの
に於て品質の善悪なるは確く保
證する所、加之に價格低廉なる
を以て既に斯界の賞譽を蒙せり

見本入用
の方へは
一報次第
送呈在候

本場髮洗粉原料發賣元 進榮堂

松澤ホーサン石鹼

色白く艶をだす最良の化粧石鹼 尖形小形粉包

○到る所に販賣す類似品あり松澤名義に注意

目四町石本京東
屋間種藥香芳
舖本水香ス
吉常澤松

二十世紀博

貴顯紳士 赤十字石鹼

淑女愛用

容貌美御料カスガオイル

煉香油ハ毛髮發賣元東京
美麗ナラシムル特功顯著也 小川湖華園

紳士淑女

サミナミ石鹼

目下化粧石鹼は粗製濫造の極に
達す、本邦衛生化粧用として、
基し、本邦衛生化粧用として、
本品にも優る品質を有するは

●畏各宮殿下御用輸入元 東京 高橋

●髮を艶美ならしめ最も愛すべき花香を出す(定拾錢)

特約店
脇田盛興堂
田中屋三兵衛
大和屋三兵衛
柳下藤五郎
佐々木玄兵衛
森庄助西店

カメル印麝香石鹼

CAMEL MUSK SOAP

ラダ印麝香石鹼は向來より、
愛用ハマスミの香料を多量に含む
が故一度使用せば其香氣身體も
元より手拭き元

ハンカチーフ、
及び浴後のゆかき、至る迄うつり
香いたし五日間も馥郁として
かほりを失はざる一大特點を有す

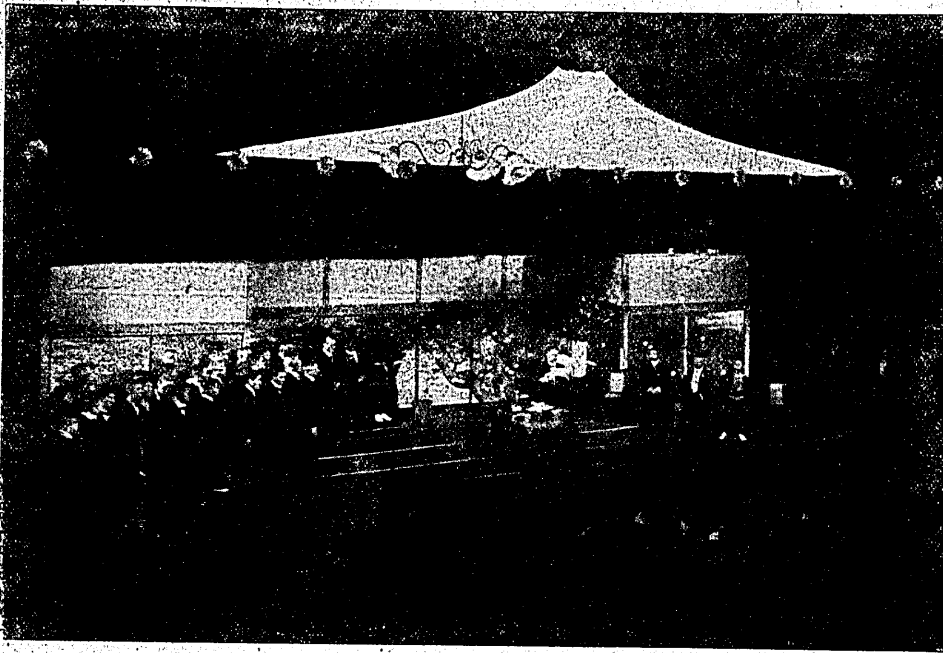
廉低格價 保永香芳 良善質品

目丁三町石本(元買發)區橋本日本京東
衛兵太上井

Camelmusk soap

全國 化粧品 同業大會

吾等化粧品業者の死活問題たりし香
料輸入税の低減せらるゝや、吾等の同業者
は一齊に歡呼し、當路諸公の賢明を讃歎す
て同業發展の餘地を得たることを實現すべ
く一致團結するの實状を示したり
惟ふに吾人の香料輸入税の増加に苦し
むるに、之が解決の術に當りし委員
諸氏の功を多し、業界の萬歳を三唱する
も、尙ほ未だ足らず、是に於て六月三日
日、東京勸業博覽會の開期中を以て、之れ
が祝賀の意を表し、且つ同業の發展を期し
て、同業大會を明治座に開き、以て一は吾
人の目的を達したるを祝し、一は是に由り



たる所以のものは、之れが爲めに營業上の
利益を減殺せらるべしといふにあらず、そ
の形勢は、外敵に對して取ふこと能はずな
らんとの明白なる推察に在り、即ち日進
月歩の勢を以て昂上する化粧品が、現
下の状態を維持し行くも、尙ほ且つ外敵に
對する舶來品と對抗して、内地に争ひ、海外に

競争と極めて困難なるに、更に一大痛
たる香料輸入税の増加は、是れ營業を衰
せしむるに異ならず、内は外國製品の既
に委せられ、外は之と外國市場に争ふこと
能はずなりぬるより、結果は獨り營業の減
却と、漸進の産業とを抛棄し去るに歸せん
こと、火を賭するより明かなり、故に吾人
の一致團結して當路に迫りし所以は、漸進
の産業を減ずることの不利に在り、當路者
の吾人に聽きし所も亦漸進の産業を愛惜し
て、國家經濟の富實を期するに在るや必
せり、斯の問題の解決を期せし所以と、解
決したりし所以のもの、實に斯の如きもの
なりとせば、吾人同業者の當に期待すべき
所のもの、亦實に歡呼の聲を放ち、双手を
舉げて萬歳を唱ふるのみに止まるべからざ
るを覺ゆるなり、請ふ吾人をして怠惰なく
言ふ所あらしめよ

新着荷廣告
一打ニ付金一圓三十錢
水チツク毛髪(せ直し用)
コスメチック
以上金九圓を要す
及ヒグチツク、ライムクレーム、ボマード
其の他各種化粧品、特別廉價責任保證品目
東京馬喰町(御中區)新橋三丁目
三丁目 目 田中花三堂

香料輸入税の低減に其目的を達し、内は外國製
品を驅逐し、外は海外市場に争ふを得
るに至れるからに、其の驅逐の道
と競争の道とを講
ずるを急となす、吾人が香料の輸入税を云
々たる所以のもの、亦實に此の目的の
爲めに存すとせば、同業者たるもの、此の
大目的に向つて猛進進往せざるべからずし
て、その道は一に同業の發展に在り、而し
て同業の發展は、規模の擴張と、技術的精
巧とに在り、即ち同業界の廓清と擴張とは
一に同業者に存するものといはざるべから
ず之を期するの道は、他なし、蝸牛角上の
争ふ去り、同業の一致團結によりて、世
界的行動に出で、香料の輸入税低減を主張
したる團結の力に鑑み、其結果も亦其力に
よることと期すべし、是れ吾人が大會に對
して望む所にして、同業者も亦夙に茲に想
到せられたることを信するものなり、
要するに、吾人が全國同業大會の開催に
際し、竊かに抱きつゝありし希望は、同業

大會開催の趣意

吾人が全國の同業大會を開きし所以の
ものは、曩來屢次記述せし所によりて知る
得べきも、順序として、この大要を記
するとも、大會が徒爾に終らざるべき
と懇念する料となさん
關稅改正に伴ふ香料輸入税の増加は、石
化粧品品の衰退を招くべきものなるを以
て、吾等當業者は、之れが全廢を期した
りしに、幸なるかな、當路者の賢明な
るに、實情に鑑み、協定税率を適用して
輸入税を低減せらるゝ、是に於て、當業者

は、内は輸入製品の政慮を防ぎ、外
は以て海外に争ふの餘地を得、益々奮勵
努力して當業の發展を期し、茲に全國同
業大會を開き、聊か之れが祝賀の意を表
せんとなす、
是れ大會開催の趣意なり、即ち大會は當業
の發展を期するに在り、而して發展は内地
の海外に競争し得る、餘地を得たるにより
て求めらるゝなり、その大會果して奈何、
歳の六月三日、大會は明治座に於て開か
れたり、當日前九時、委員は早くも會場
に集合して各々の任に就き、會場委員たる
田中吉兵衛、長瀬富
郎、村田龜太郎、淺
井碩成、住田多造の
五氏は場外の裝飾、
式場の設備、奏樂の
指揮に關して準備設
計に精進し、來賓接
待委員たる井村政勝
保々誠次郎、若山初
九郎、田中吉兵衛、
相馬久吉、長瀬富郎
村田龜太郎、安永鐵
藏、小林富次郎、安
藤福太郎、淺井碩成
佐々木玄兵衛、佐野
小兵衛、三輪善兵衛、平尾養平、住田多造
の十六氏は來賓休憩所に充てたる茶屋日野
家、花家の二軒に分れて、來賓の迎接に努
め、會員接待委員たる脇敷次、中居百助、
江川金右衛門、宮城喜三郎の四氏は茶屋尾
張家に、武井龍三、田村庄太郎、長島豊次
郎、山本逸造、齋藤吉次郎の四氏は茶屋武
藏家に、山田萬三、小林六太郎の二氏は茶
屋岡田に、伊東策、井上太兵衛、方波見善
藏、仲徳次郎、松澤常吉の五氏は茶屋いづ
み家に、小川正三郎、柳下藤五郎、町田鐵
三郎、天野源七、齊藤鐵太郎、平尾統也、
鈴木新吉の七氏は茶屋中村家に、井上健太
郎、大野金五郎、松澤八右衛門、水野彌吉

折しも幕は引き開かれ、式場の中央には
前壇を設けられ、右
方に卓を置き、花瓶
に生花あり、委員に
贈るべき、感謝状と
紀念品とを飾り、假
花道より長瀬富郎氏
先導して來賓を案内
し、本花道よりは、委
員諸氏列を正し、歩
調を揃へて、肅々と
して、式場に向へば
拍手は急激の如く、
場外にも響き渡り
ぬ、かく一同は、
設けの席に着くや、
總代淺井碩成首領の曲に送られて演壇に
前み出づれば、樂止みて書然たる間もなく
拍手起りぬ、淺井氏は莊重の態度、沈重の
口吻を以て開會の趣意を演説すらく、
諸君、今日は御多忙の處で、斯く御集
まり下さりましたのは、一同の感謝する
所で御座います、
今日茲に全國同業大會を開くに當りまし
て、私が總代に選ばれましたに就きまし
ては、一言開會の趣意を述べねばならぬ
のであります、御承知の通り生來の納
辯で御座いますから、十分に趣意を發揮
することの出来ませんのは、實に遺憾で
御座います、併しながら、本會に就きま

大會の順序

大 會 會 員 名 單
原 實 記 幕 序



●●●船來へビクサリ 時計クサリ一式 ぎせれる各種 右精實ナ旨トシ薄利ヲ以テ販賣 致ベク候

煙管問屋 伊藤大太郎



男女兩用煉香油

ビューティー オイル

今回發賣のビューティーオイルは毛髪を助ける植物性油の主成分を採り之れに高尚なる芳香と油の通油性を去るべき薬品とを配合して煉製したる煉油なり

東京日本橋區馬場町 井筒屋 香油店 東京日本橋區橋本町 水天宮前 象印堂 安藤 井筒堂 大阪南區寶町四丁目 關西代理店 藤森源之助

石鹼

ことを祈ると云爾 明治四十年六月三日 名古屋小間物袋物商組合 組長 金森太七

前出で、大要左の如く演説せられたり、私に本日此會に列するの、極めて光榮とする所であり、只今諸君のお話になつたこと、御讀みになつたことに就きまして感じられたのは、團結の力といふことであり、此の力が皆さんをして今日の會を開くに至らしたといふことは、私を驚かす所であり、同時に我々の實業家が漸く世界的になつて來たことでもあります、即ち諸君が今日なされたことは政府を動かした結果です、議會を動かした結果であります、實業と政治とを結び付けたことによつて成功せられたのであります、私に常に實業と政治とが一體に結

つものは政治的智識を有して、實業と政治との結合を圖らねばならぬのです、而して實業は世界的になつて來たのです、現に諸君がなされた行動は世界的で、單に區々たる内國に限られて居ない、その團結も世界的で、進んで諸君の營業も世界的でなくてはならぬのです、由來石鹼といふものは、上古に在りては之に似たるものは有つたかも知れんが、今日の石鹼は日本の固有ではない、外來の品であつたが、今日では既にその本元たる外國と競争することの出來るまでに發達して來ました、尙ほますます進んでは、清韓に及ぼし、こ

東京實業組合聯合會 會長 前川太兵衛

本日御招待を受けまして、此の會に列しますのは、私の光榮とする所であり、先刻長瀬氏が、香料問題に就いて、私が盡力したやうな御話がありました、誠に感謝されては、恐れ入る次第であります、私はだんくと言ふさんの御話によりまして、香料の輸入税が増加されたことの不利なことを感じましたので、及ばずながらこの問題に關係して何とか良法を講じたいと思つたのであります、然るに今回すべてが協定税率に依つて扱はるゝといふことになつたのは、私にへきことであり、就ては諸君に於ても、此の機を利用して、御同業の發展を實現せられんことを希望するのではありません、次に來賓東京市長尾崎行雄氏は拍手の裡に

列陳氏節五守手井員合組本



び付けられねばならぬといふ意見を有して居るのです、今日諸君がなされたことは、之を實地に行つたものであります、世間の人は、動もするといふのです、實業は政治はいらぬ、否、學問は全然いらぬ、たゞ算盤を解すればよいといふものがあります、成程實業家に算盤は必要でせう、併し算盤ばかりで實業が發達するでせうか、現に今回の香料問題の解決せられたのも、算盤の力でありませうか、いくら上手に算盤を撥いても、此の結果を見ることは出來ないのであります、即ち政治的智識によつて見ることが出來たのです、故に今後實業界に立

の石鹼を以て清韓兩國の汚ない未開の體軀を洗滌してやらねばならぬ、私はたゞに彼等の體軀のみではない、その頭腦をも洗滌してやらねばならぬのです、併し一體日本の實業家が海外に於て失敗するのは、模倣の多いことである、私は石鹼や化粧品も果して同じかは知りませんが、すべての貿易品は、或一つの好評あるものに對して、他の商人が模倣して、體裁は區別することの出來ぬまで、そして品質の粗悪なものをして、價格を低廉にするので、折角好評を得たものを併せて不信用に陥らしむるのであります、此の缺



乃木ムスラ石鹼 製造本舗東京西條

本品賣行きの好季節に相成申候 不相變御引立奉願候

夏は夏 德田製 湯上りの時と常ふあせ性の御方使用用品

ブルケムスオイル(香油) 東京 東王堂

●香水界の大革命●船來香水に「まよごる」 星顔印



星美人香水

●發賣元 東京日本橋區十軒店八番地 中岡 太平洋堂

謝辭

本月三日明治座に於て全國石鹼化粧品同業大會開催に際し左の通り謝贈を添ふし爲に一層の盛況を添へ因て以て大會の趣意を達することを得たるは本會の光榮とする所にして感謝の至りに堪へず茲に謹みて芳名を列記して謝意を表す、

全國石鹼化粧品同業大會

大阪化粧品同業會 大阪石鹼同業組合

一 金壹百五十圓

名古屋小問物袋物商組合

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

花王石鹼

一 金壹百圓

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

大野金五郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

江川金右衛門

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

柳下藤五郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

松澤八右衛門

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

高塚東太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

齊藤吉次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

三井花陽堂

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

田中花王堂

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

淺井本店

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

水野彌吉

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

武井龍三

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

小林六太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

田村庄太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

鈴木新吉

一 金貳拾五圓

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

村田龜太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

住田多造

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

相馬久吉

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

安永鐵藏

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

酒井玉盛堂

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

清水作兵衛

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

汐見儀兵衛

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

伊勢吉重堂

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

山本逸造

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

星野宗助

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

石黒伊吉

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

藤井惣右衛門

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

勝本治助

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

井上小四郎

一 金貳拾五圓

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

伊藤なか

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

天野磯五郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

田中定七

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

中村勝信

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

淺田正行

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

杉村鎌次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

山口幸次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

竹間品造

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

丸善株式會社

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

福原有信

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

平谷合資會社

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

木村悦三郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

龜岡龜王堂

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

中居百助

一 金貳拾五圓

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

宮城梅素亭

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

廣瀬商店

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

保々誠次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

脇數次

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

井村整興社

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

吉村又作

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

長島豐次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

町田鐵三郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

方波見善藏

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

三木彌太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

永廣堂

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

西條英治

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

兼松商店東京支店

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

前田久昌堂

一 金貳拾五圓

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

徳田多助

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

内田幾太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

羽根田作兵衛

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

滑川源次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

鈴木歌吉

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

若山初五郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

井上健太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

天野辨吉

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

一柳信次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

柏木卷太郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

尾澤良輔

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

福田鶴吉

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

小林安次郎

一 金貳拾五圓

各種石鹼製造

東京小問物商同業組合

一 金貳拾五圓

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

鈴木保五郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

堀江小十郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

小林兼三郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

福見定助

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

板橋春三郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

山根光次

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

桃谷政次郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

福見定助

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

小林友三郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

堀江小十郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

鈴木保五郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

鈴木保五郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

鈴木保五郎

一 金七圓五十錢

各種石鹼製造

鈴木保五郎

一 金七圓五十錢

針問屋

住吉屋

上田長右衛門

東京市大傳馬町二丁目

千歳元結本飾
三河屋勇三郎
電話新二一〇番
電信部三三三(二)

千歳元結

東京市青山



北米合衆國の住宅の状態

第五 暖室ノ設備及ビ燭燈

火焚場に薪を焚きて火の燃のちら〜と上るを眺め、つゝ親しき友と若くは家内打ら寄りて冬の永き夜を語り暮すは趣味ある事とて心ある人は之を好むなれとも日進月歩の便利と趣便には趣味ある古風を一掃し去りて今や薪を焚きて室内を暖むるものなし石炭を焚くことすらも既に流行に遅れつゝあり而して今日最も流行は「石炭ストーブ」「瓦斯ストーブ」「温氣爐」及び「蒸氣爐」となり石炭ストーブ「瓦斯ストーブ」は専ら中等以下の家に用ひられ他は中等以上の住宅に備へらるる殊に「プラットハウス」に於ては蒸氣爐を専用す中等以上の家に古風の火焚場が客間書斎等に裝飾的に保存しあるも時に或は甚しく寒き日に於て石炭を焚き若くは瓦斯を焚きて暖氣を補足することあり之が爲に火焚場の内に蒸熱したる松の丸木三本程積み置き不時の用意と爲したるあり是れ實は眞の丸木に非ずして鐵製の模擬品なり其の表面に無數の穴を穿てて瓦斯を導き之に火を點すと冷き薪の燃ゆるが如く擬したるなり温氣爐は地下室に備へたり石炭若くは瓦斯を焚きて暖めたる空氣を通風管によりて上層の各室に送る上層の各室には側壁に於て若くは床に一方一尺五寸程の空隙を設けて地下室の温氣爐より上騰し來る暖氣を室内に逸出せしむ此の空隙は唐草を透し彫りとなしたる鐵、具繪等の蓋にて被はる蒸氣爐も亦地下室に設けたり水を熱して蒸氣を生ぜしめ鐵管によりて之を上層の各室に流通せしむ上層の各室には鐵製の「ヒーター」を備えて蒸氣を停滯し熱を放散せしむ

中等社會の住宅に於ける燭燈は専ら瓦斯燈なるも時に或は石油を併用せらるる間に於ける洋燈及び居間書斎等に於ける讀書洋燈等も亦各間の洋燈は實用品にあらず裝飾品にして我石燈籠の如し讀書洋燈は實用品なるも亦裝飾品として扱はる(因に自ら高等社會の邸宅に於ける此の種類の洋燈は電氣瓦斯若くは石油燈として需要の夥しきものなり是を我が陶磁器七寶の製品として若くは鑄造物漆器等に應用して有望なる買物たるべし)

切て亞米利加に於て瓦斯を使用することは種々なる用途に於て中等社會の住宅に限らず總て一般とす飯食の爲に之を燃焼し室内を暖むる爲に之を燃焼し又夜を照らす爲に之を燃焼すれば瓦斯が日々夜々に燃焼せられて此西洋家屋の閉ち込めたる室内の空氣に一種の影響を及ぼすことは論を俟たず生は化學を解せざるが故に果して理由の此處に存するや否やを斷定すること能はずと雖も事實に徴して或種類の金屬製品が此室内に於て著しく錆び易きを認めたり殊に銀製品に於て最も甚しとす其錆るや始め紫銅色の曇りを生じ次第に銀の錆ひたるが如く成れり終には名状し難き一種の醜陋なる色を呈するに至る然らざるも亞米利加人はてらくと滑り解きたる光澤を愛するが故に珈琲具ナイフ、ホーク類は勿論銀製の花箱小箱寶物入置物類に至る迄遠慮なく銀磨粉又は磨液を用う是れ蓋し營業者の大に注意を要する所なり彼の「アンチモン」製品の如く磨くことを得ざる物品ありては將來の運命も甚だ憂慮なきやに思はる但し同品の青銅に換えて塗らるる物は割合に瓦斯の影響を受けざるが如し又曰く亞米利加の空氣の乾燥せるが爲に木製器具の安全を妨ぐること人の常に感く所のなり又寒中に「ストーブ」を焚くが故に其熱の爲に侵さると云ふ然れども生か數年來の經驗に徴すれば二説共に未だ深く究めたりと云ひ難し蓋し乾燥空氣の害は甚しく恐るゝに足らず又寒中に「ストーブ」を焚くことも過度の温度を保つ場合には反て木製器物をして安全ならしむるの利あると決して香とらず而して害の最も甚しとす且つ恐るべきは木製器物を寒暖計が氷點以下に降下する程の寒気に露して全く濕氣なき室内に置き若くは室内の温度七十度を超

清國通信

常徳 伊世 洋行

常徳府市場の雜貨及化粧品品の報告
一化粧品 香水白粉等の多く獨乙製、獨利亞製にして、昨今當地市場に見ゆるは日本製としては、香水一打三元内外のもの一個買としては三拾仙位のもの尤も多し、實れ口上白粉は一打一元五六十仙より二元位のもの賣出好し、一齒磨 袋入り一打四拾仙、小賣袋入り四仙、支那人の多く紙包みよりも玻璃瓶入のものを買ひの風あり、

一石炭 當地市場に販賣せられつゝあるは多くは大阪東京製のものにして、品質粗悪、惡臭あるにより、好況と雖も至らぬも、昨年に比すると、今年は需要高多き様に見える、殊に支那人は大阪製のものを買ひの風あり、

一洋傘 未だ需要大ならずと雖も、一箇年一箱參拾五打入約百箱以上輸入ありと云ふ(當地屋金局調)最も多く販賣せらるゝは、大阪、川崎製、桐屋、印木、綿張(鷹印)筋入のもの多く、一打は四元五拾仙より五元五拾仙位のもの賣出好し、洋傘は將來有望の好況なり、

摩尼金言録

人生の目的は、幸福にありして、道徳あり。人生に幸と不幸のあるは、但し旅行に、目的があるが如し。旅行の目的は、幸福にあり。

壘

製藥瓶 香水瓶 化妝品瓶 藥局瓶 共口瓶 洋酒瓶 牛乳瓶 菓子瓶 玻璃瓶 藥水瓶 藥油瓶 藥膏瓶 藥粉瓶 藥錠瓶 藥丸瓶 藥散瓶 藥塊瓶 藥餅瓶 藥丸瓶 藥散瓶 藥塊瓶 藥餅瓶 藥丸瓶 藥散瓶 藥塊瓶 藥餅瓶

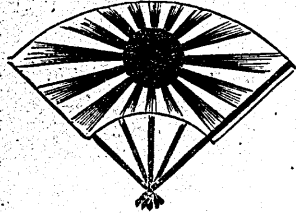
東京市日本橋區堀江町貳丁目
平谷合資會社
電話浪花千五百〇八番

扇問屋

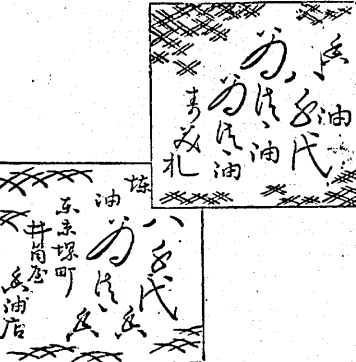
御進物用御姓名入扇は勉強調製仕條

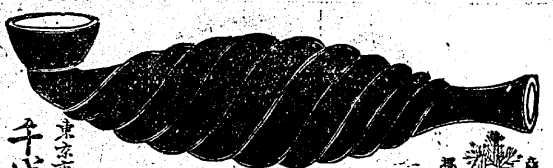
東京市日本橋區堀江町貳丁目

平谷合資會社



カ梅香





純銀製 懷中持各種 洋白銀金製 实用真鍮製

千代村伊三郎



女傑川上貞奴 色を白くし

スミレ王白粉 本品質衛生試驗所於テ無鉛ニ證明ヲ得タリ



THE BEST MADE SUMIRE VIOLET PASTE

WASHING POWDER

大工場と鑛山 應急工アルボース

美生水

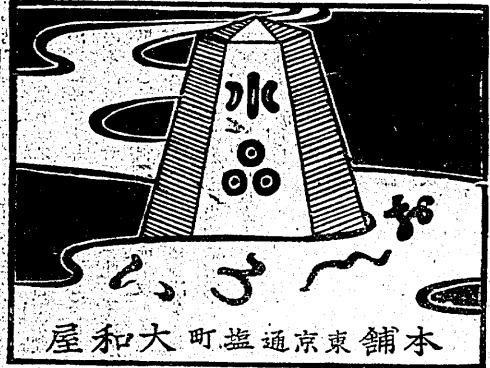
眼鏡各種 ナイフ小刀鉞類 扇類 金屬小間物類

卸商 斧山與兵衛

系組紐問屋



團扇景品附クリーム石鹼



製造品略目

高等高油 手洗いオイル

中村新十郎

パール石鹼

本商報の廣告を見て廣告主へ御照會の節は何卒本商報の廣告御覽の旨御附記被成下候様願上候

製造本舖 伊勢吉壽美禮堂謹製

丸金時堂

お断り

今回の同業大会に關しては、各地の同業者各位より多大の御同情を與へられ、全國の同業組合并に團體よりの祝詞祝電は勿論のこと、各個人としての御祝詞祝電もその數百二十餘通に上り、狹隘たる紙面にては、到底登載し難く已むを得ず各組合の分を主とし、各個人の分は省略に従ふこととなしたるは、因より御好意に對し申譯もなき次第なれど、事情御洞察の上、萬々御海恕下さるゝやう、謹んで御断り申上候

東京小間物化粧品商報

謹告

本月三日全國石鹼化粧品同業大会開催の際には各地御同業各位に於て多大の御賛同御援助に預り以御蔭豫期以上の盛況を見るを得て開催の目的を貫徹したるは本會の光榮とする所なり殊に業務多端の折柄御繰合せ御會合被下たる各位に對しては感謝の辭も無之一同深く感佩して措かざる所なり茲に乍略儀紙上を以て謹告す

明治四十年六月

全國石鹼化粧品同業大会

謹謝

本會々々長伊藤幸三全國石鹼化粧品同業大会に懇懇の節は御地同業者諸君の深厚なる御配慮に預り當代表者としての面目を施し候ひし儀感謝の外無之一々御禮狀差出し可申寄の處多數の御來會者にて尊名を詳かにせず、茲に乍略儀紙上を以て奉萬謝候

明治四十年六月四日

大阪化粧品同業會

東京石鹼化粧品同業者各位

西髮洗粉 グレエー福引當籤報告



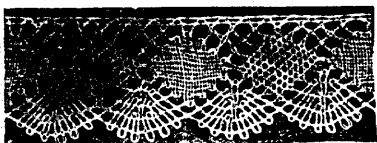
豫定の如く本月一日東京小間物化粧品御商組合事務所に於て龜岡勝本、田中武井、高塚安井、政本、水野の各特約店並に事務所員立會ひ抽籤を行ひ候處其結果左の通に御座候

景品五圓券當籤番號

右御當籤の方は先に御交附申置候福引券へ御記名御捺印の上特約店へ御請求被成下度願上候也

店約特

- 日本橋馬喰町四 龜岡 龜王堂
日本橋本町三 勝本 治助
日本橋馬喰町三 田中 花王堂
同 淺井 龍三
同 高塚 東太郎
同 安井 治太郎
同 水野 龍吉
同 政本 正太郎
同 政本 安太郎
同 水野 龍吉
同 淺井 龍三
同 松井 支店
同 日本橋馬喰町一 森本 支店
同 日本橋馬喰町二 炭屋 長兵衛



舶來雜貨 裝飾用 直輸入 區格物助 (電話本局八九六番) 谷商店

Advertisement for '元寶發' (Genpōhatsu) featuring a product image and list of branch locations.

Advertisement for 'き能判評に内市京東' (Reviewable in the inner city of Tokyo) for 'いろしお水' (Iroshio-mizu).

Advertisement for '天戸石' (Ten-do-ishi) featuring an image of a horse and rider.

Advertisement for '博覽會紀念' (Exposition Memorial) for '日よけのれん' (Sun-protecting ribbon).

Advertisement for '芳香原料' (Fragrance raw materials) and '見本函發賣' (Sample book for sale).

Advertisement for '紅屋伊勢大貫幸吉' (Beniya Ise Daikuan Yukiyoshi) listing various products.

Advertisement for '伊營' (Iei) featuring an image of a woman's face and a list of products.

Advertisement for '都花' (Tohana) featuring an image of a woman and a list of branch locations.

Advertisement for '天中一品' (Ten-chū-ippin) for '白粉の女王' (White powder queen).

Advertisement for '美人スルクス' (Beauty Sुरुくす) featuring an image of a woman and a product box.

Advertisement for '美人スルクス' (Beauty Sुरुくす) featuring an image of a woman and a product box.



謹告

弊店が昨年以來發賣致し候實用新案登錄第一九五號發賣權止之義日未だ淺きに不拘好評噴々需用日逐々増し今や非常の盛況に達し頓に愛用者の加はり候所以の偏に愛顧諸君の賜として感謝措く能はざる處に御座候一は本品が飽迄實用之特色を失せざりし點と信能に候然る處今同業者某竊に其好況を羨望し偽造販賣致し候付自己が權利保護の下に斷乎たるの舉に出でん存念に候處熱誠なる調停者有之弊店に於ても某氏に對し御印に御留意再び偽造品の爲に迷ひ給はざる様倍舊の御眷顧御引立之程奉希上候

贈 五二共進會三於テ 進歩銅牌ヲ受領ス

④印兼用禁止は名稱の夫の如く簪とブローチとを兼備せる束髮簪にして極め完全なる實用的のハイカラ式を取はつしては音に禁止のみの裝飾に止まらず恐らく身を飾るの具たらざるなく四季共に流行界の花として歡迎せられつゝ有之殊に意匠は下店が銀へ來れる特有の妙技を奮ひ日に新に珍形を續出致し候へは御高命の榮を垂れ賜はん事を伏て奉懇願候

東京市日本橋區馬喰町四丁目一
頭飾小間物 卸商 宮本商店
(特電) 浪一七一九

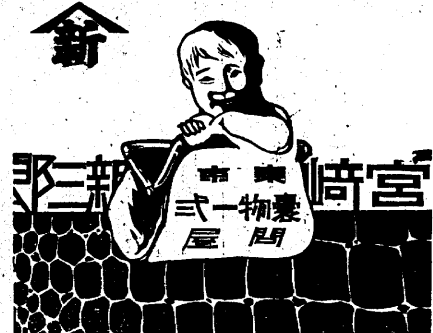
稟告

本組合員日本橋區馬喰町四丁目宮本庄七氏より既に昨以來の發賣に係る實用新案登錄兼用禁止を本組合員某氏が是を偽造販賣したる爲に相互紛糾中將に公擧げ及の場合にまで差迫候處本組合の定款に基き役員の調停にて同氏も寛大に讓歩され茲に落着致候得共御認の節は斷然御取扱無も特許實用新案意匠商標の侵害品と御認の節は斷然御取扱無も特許實用本件如き物の發生せざらん事を期すると共に豫め本組合員及同業者諸君に御通告申上候也

東京小間物商同業組合
明治四十年六月十日 組長 大西榮輔

實用 新案 花リボン
婦人小間物新新リボン問屋
東京市横山町貳森本支店
本店 町砲鉄屋古名

地番壹丁目式町山橋區橋本日本京東



博覽會と新聞紙

東京勸業博覽會開かれてより三個月に達したる今日、物珍らしげに評判したる割合に人氣なかりしだけ、日々觀覽人は其數を減じたるも、而かも夜間開場の日は、入場者多きを以ては、かの所謂人氣なるもの、信すべからざるを知ると、もに、氣候の關係と、觀覽人の誤解とが、大なる原因となしつゝあることを思はざるを得ず、世人の多くは、博覽會を勸工場に比しつゝあるにあらざるや、博覽會當局者も是に至りて、泣かざるを得ざるべく、出品者も亦大に奮發したる甲斐のなかりしを嘆たざるを得ざるべしさればこそ、漸く暑氣に向へ

今日此頃、表間の觀覽人よりも、夜間のイルミネーション見物の方多きは、世に怪しむに足らんや、是に於て、吾人は商工業の發達に伴ふた一般智識の進歩なき間は、是等商工業の進歩發達の途を遮する爲めの開催が、遂に何等の効もなく、盲目千人の惡罵に觸るの外、更に博覽會開催の目的を忘れ去るの外なきに了らんことを恐るゝなり、來るべき大博覽會を前に控へたる今日に於て、東京勸業博覽會を不成功に了らしむることは、やがて商工業の發達を獎勵する所以にあらざるべきなり、その成功と不成功とに大關係を有するものは、有力なる新聞紙なり、かの他人の缺點にて飯を食ふ落語家等とせせられし時代の過ぎ去りし今の新聞記者たるものは、宜しく前後の深慮なかるべからず、開く近き内に、九重よりの臨御あらせらるべく、商工業者の榮譽を荷ふものもあるべきならんが博覽會をして博覽會たらしめ、以てかの誤解をなせる世人を警醒して、商工業の發達を促進することと思はざるべからず、即ち東京博覽會をして、大博覽會の下稽古たらしむるの策を取らざるべからず而して之をなすの道は、當局者の慎重なる畫策と、新聞記者の公平なる批評とに待たざるべからず。徒らに惡罵熱嘲を用ひるが若きはたましくその記者の淺慮を表自するに過ぎざるなり



本年六月十一日發行本商報廣告
欄内東京松澤常吉商店發賣ムス
ク香水大景品當選番號發表報告
中乙種當り當號二九六トアルハ
三九六ノ誤植ニ付茲ニ謹テ正誤
報告仕候



完全無鉛白粉
製粉國自
製粉國自
製粉國自

電話浪花 一四七三番 宣 少年 前金 畫 料 特別販 行 印刷人 發行所 東京市日本橋區馬喰町四丁目一

香料輸入税問題と世界の同業者

吾人が香料輸入税問題に關して、政府に迫り、國家經濟の上よりして、遂に減税の目的を達し、本月三日の佳辰を以て、祝賀の大會を開くに至りしまで、本邦を顧客とする世界の同業者は、非常な熱眼を以て注視しつゝありしといふこと、前報にも報じたりしが、是れ強敵に睨められしことなれば、いさゝか警戒する所なかるべからざるは勿論なるも、さりとてまた愉快なることならずや。

試みに思へ、世界の同業者は、何故に此の如く注視したりしか、彼等世界の同業者は、歐米各國間に多大の輸出入あるに相違なきも、それを比較計算せば、加減となさるべく、結局は何等の利益もなきに反し、一たび東洋市場に出でんか、それは自己の輸出のみにして、自己の市場に輸入すべきものあるなし、即ち東洋市場は彼等に唯一の富源となれり、然るに東洋市場に存在せる一孤島あり、日本帝國といふ、土地廣大ならず、人口さまで多からず、富力いかに足らざるも、而かも上下一致の力に強くと、人は技巧に長じ、長を取り短を捨つ、に速かに、彼等が巧に誇りし高船の技藝は殆んど取りて而して却りて彼等に敵たるものあり、一衣帯水にして彼等の唯一の富源となす東洋市場に隣りするより、我帝國の東洋市場に有利なる便宜のあることは、彼等の窺かに恐れつゝある所なれど、吾人には不幸なるも、彼等には幸なる一事は、たとひ技術は進歩して、優るとも劣ることなき程度まで達したりとは、吾人の同業品の原料たる香料は、内地に産せず、彼等を我邦に對して協定税率の保障を有してその製品を輸出し、吾人は高き輸入税を拂ひつゝ原料を輸入す、高率の原料と低率の製品と、内に於て争はざるべからざるに、更に之を以て東洋の市場に争ふ、その勝敗の數、いさ下足らざるものあるべき

なり、是を以て彼等は吾人の技巧を恐るゝも、尙ほ原料を以て困むることを知りて安んじつゝありしに、一旦吾人の起つてその不可を唱ふるや、彼等は吾人の從來溫和なりしに反したるに驚きるとも、に、彼等の吾人に對する唯一の武器たりし原料の便宜なるより、一層疑懼の念を高めたりしや宜なりといふべし。

想つて茲に到れば、彼等の吾人を注視したりし所以は、彼等の唯一富源たる東洋市場に、吾人の商品が跋扈するの目途なきにあらざるべきを思ひたればならん、即ち吾人が苦痛として、争ふに堪へざりし原料が、幾分の餘裕を以て手に入れ得るに至りしより、東洋市場への便宜は、彼等以上にある吾人にして、而して技巧と實業とが甲乙なきに於て、彼等は遂に不利なる地位に立つのみならず、我が日本にも少なからざる顧客を奪はれる結果、吾人の行動を注視するの已むなきに至りしならん、然らば、吾人の行動や、世界的となり、その業も亦固より世界的なるからは、吾人同業者の前途や、それ多幸多望なるかな、また之れと同時に、その責任や重且つ大なるかなと嘆せざるべからず。

あ、世界の同業者は、吾人を目して大敵となす、吾人また彼等の大敵なることを自任し、一擧の下に彼等を打ち挫ぐの勇氣と覺悟とを有せざるべからず、若し今日彼等の憂慮する所をして、單に彼の一祀憂たるに了らしめば、吾人同業者の不面目たるのみならず、今日上下の一致して視實したる所以の本旨を没却したるものにして、徒らに彼等の嘲笑を買ふに止まらんとするなり、豈に當つて自ら重し任せざるべけんや、

組合録事

○六月十三日 組合新加盟者
住所 日本橋區馬喰町四丁目二十一番地
氏名 山岸三之助君

右新加盟せられたるを以て組合員名簿へ

○同十五日 午後六時より本組合事務所にて役員會を開く出席者 (イハは順)

大 貫 幸 吉君 大野金五郎君
田 中 吉兵衛君 田村庄太郎君
武 井 篤三君 長 藤 五郎君
山 田 篤三君 柳下藤五郎君
小 林 六太郎君 天野源七君
安藤福太郎君 佐野小兵衛君
佐々木玄兵衛君 齋藤吉次郎君
平 尾 贊平君 鈴木新吉君

以上十六名にして例に依り商報廣告意匠の選定を爲し同十時散會す

○同十二日 東京商業會議所より左の通牒ありたり

發一五五號

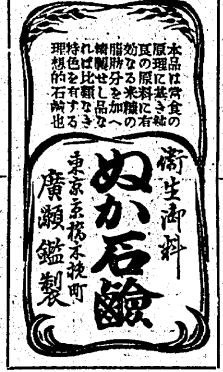
拜啓今般本邦輸出商品記載文字及體裁に關し別記之通り外務省通商局より通知有る候に付及御移候也

明治四十年六月十二日
東京商業會議所
御商組合御中

其原産地に基き擬せらるゝ規定にして産地に關し明かに虚偽の文字を記載せるものは勿論其否らざるもの雖も一見他國品と誤認せしむるが如き表裏體裁を有するものは一切之を取扱はしめ且つ税關吏は此等の行為を以て一種の詐欺手段と見做して現品を沒收し又は罰金を課する處に遭遇するに當て在留本邦商人中右様の場合に遭遇する爲めに非常の損失と意外の迷惑とを蒙りたる實例不鮮候は當國との貿易上大に戒慎を要する儀と思惟致候に付向後本邦當業者に於て善く此邊に注意し印度地方へ輸出する商品に關しては其品質體裁の外國製品に擬似するものと論なく其仲味及表裏の各部とも明晰なる文字を以て(其文字は邦文にては英語にても可なるも英語の方一般に了解せられ易きを以て之に依るを良とす)但し商品の他の部分に佛語若くは獨語の文字商標等を記載するものに限り同一國語を以て日本製品たることを記載するを要す)其商品の明かに本邦製品たるを表彰することに改良致候

機一般當業者へ通告可然御取計相成度尤も當國へ輸入する日本製鉛筆に於て履目録筆が如く外装仲味の孰れの部分に於て何分の意匠記號文字を存せざる種類の商品に關しては殊に其産地を明記せざるも日本品として通關差支なき趣に有之候前記の如く虚偽の産地を表示し又殊更に他國品類似の體裁を用ふるが如きは假令其商標の權宜に出づるとも其結果は却て前述する如く本邦製品の聲價を失墜し其販路の縮少を招く場合少からざるに付當業者に於ても永く永遠の利害に顧み斷然斯る姑息隨醜の商略に出づることを廢し堂々日本製品たることを表彰して其品質技巧の上にて於て歐米品に對し外國市場に於て競争し敢て取を招かざる迄に其製法技術を進歩すること留意せしむること小官の切に希望する所有之候此致御報告申進候致具

明治四十年四月三十日
在カルカッタ
總領事 飯島龜太郎
外務大臣子爵 林 董 殿



懸賞意匠廣告當選報告

本商報去月廿一日より本月十一日まで三回に渉り掲載せられたる新意匠の廣告に就き去十五日の役員會に於て審査したる結果左の廣告當選したり

第一等 ヘルツクリーム廣告
(五月廿一日五頁掲載)

第二等 君ヶ代香水廣告
(六月十一日十六頁掲載)

第三等 赤十字石鹼廣告
(六月十一日四頁掲載)

井村整興社君
四十六點
次 點

大江戸石鹼(六月十一日十五頁掲載)
天野磯五郎君
レイト廣告(六月一日十二頁掲載)
平尾 贊平君
ライオン齒磨(六月十一日二頁掲載)
小林富次郎君
レイト廣告(六月十一日十六頁掲載)
平尾 贊平君

○婦人共立育兒會と本組合員

前報にも報導し置きたる婦人共立育兒會にては本月七八兩日歌舞座に於てその意匠舉行をなしたる際森田商工局長の勸誘に應じて本組合員はその商品を寄附してその運動場に賣店を開きたるに好評を博して悉皆賣盡しその賣上金は同會への寄附となりたるが之に對し同會會頭鍋島侯爵夫人より左の通り挨拶状を寄せられたり

拜啓、念御清勝奉賀候際本會慈善演藝會開催の節は其目的を達せられ多数の化粧品御寄附に預り感謝致し候

右は當日會場内に賣店を設け其賣上金額は本會の目的に充當致し御篤志の趣旨徹底候事に取計ひ申候依て茲に御挨拶申進度如斯に候致具

明治四十年六月十七日
婦人共立育兒會
會頭侯爵夫人鍋島榮子

○替兼用禁止實用新案權侵害事件

日本橋區馬喰町四丁目目なる宮本商店の發賣にかゝる實用新案第一九五號替兼用禁止は好評の噴々たるものなるが之れが盛況を望望する奸商出で感にその偽造品を販賣したるより同店にては自己の權利保護上已むを得ず斷手たる舉に出でんとしたる際大西榮輔氏等業界の名譽を重んじ熱誠に調停する所ありたるより同店にては之に死して穩便に解決を見るに至らしめたりといふが業界の爲めに賀すべきことといふべし、

成る

飯田小間物袋物雜貨商組合

信州飯田なる同業者は相謀りて一の組合を組織し飯田小間物袋物雜貨商組合と稱し去月一日創立總會を同地仙鶴樓に開き評議員十二名を選挙し評議員の互選を以て役員を選挙したる結果左の如く當選就任せられたりと同地より通信ありたり

主任幹事 杉山治郎 幹事 中島 一
幹事 木下 善平 會計 佐藤 金作
會計 關井 眞吾

第一等 ヘルツクリーム廣告
第二等 君ヶ代香水廣告
第三等 赤十字石鹼廣告

井村整興社君
四十六點
次 點

大江戸石鹼(六月十一日十五頁掲載)
天野磯五郎君
レイト廣告(六月一日十二頁掲載)
平尾 贊平君
ライオン齒磨(六月十一日二頁掲載)
小林富次郎君
レイト廣告(六月十一日十六頁掲載)
平尾 贊平君

評判記

君々代香水の盛況

獨逸グスターブボエム社紀念發賣の君々代香水が新案ゴードンカッパレスを以て...

乳白化粧水レートの好況

日本橋區馬喰町一丁目平尾賢平商店の發賣乳白化粧水レートの使用者の嗜好に投じ...

オヘア香水の名譽

日本橋區米澤町一丁目なる風舞園の新製發賣にかゝる美顔香水オヘアは多年の研究...

水田白粉の好評

日本橋區通運町なる大和屋商店發賣の水田白粉は透明無鉛の調剤といふべき逸品に...

鶴の卵、トラムスク石鹼

景品付の賣切 獨逸グスターブボエム社紀念發賣の君々代香水が新案ゴードンカッパレスを以て...

クリーム石鹼の紀念團扇

神田區久右衛門町なるオーケー商會發賣のクリーム石鹼は發賣以來好評を博して...

クラブ洗粉の盛況

かの中山太陽堂の發賣にして有名なる化粧用品店の特約たるクラブ洗粉は廣告に伴ひ...

美人紙白粉の好評

中島花蝶園の製造にかゝる平尾賢平其他の特約發賣にかゝる美人紙白粉は懐中の携帯...

ベルツクリームの好評

東京化粧品俱樂部の發賣にかゝるベルツクリームは大醫ベルツ博士の處方たるだけ...

赤十字石鹼の盛況

本所區柳島梅森町なる井村製菓社製造の赤十字石鹼は品質の優等香氣の醇郁たるを...

スワンボマーの發賣

デリフリール會社製造のスワンボマーは透明煉香油にして香油としての特効を具備し...

ホルマリン石鹼の盛況

日本橋區本町なる圓城商店發賣のホルマリン石鹼は消毒化粧用洗滌用の三種ありて...

つるのはね紙白粉の好評

日本橋區通運町なる大和屋商店發賣のつるのはね紙白粉は舶來の紙白粉にも優れる上...

Advertisement for Camel Musk Soap featuring a woman in a long dress holding two boxes of soap. Text includes '紳士淑女', '松澤ホーサン石鹼', and 'Camel Musk Soap'.

Advertisement for Kireisui (Clear Water) featuring a woman's face in a decorative frame. Text includes 'KIREISUI', '高キレー水', and '堂國帝崎山'.

Advertisement for Hasekichi (夏はせ知るべ) featuring a woman's face and large stylized text. Text includes '夏はせ知るべ', '徳田製', and '湯上りの時と常小あせ性の御方使用品'.

博覽會めぐり (その四)

三井花陽堂氏の陳列を見てから、エ君は突然といひ出した「あの古代模様の陳列は何人の出品だろうか」それは三輪善兵衛氏の「だよ」あの御園化粧品で有名な丸見屋さんのかネ、「さうさう」そんなら一應批評しやうかネ、「よからう」

三輪善兵衛氏

二間の陳列棚を一つにして、右方に化粧品、左方に小間物を陳列したのであるが、化粧品は御園化粧品と香味堂を飾つたやうなものに見えた、エ君は嘆息していつた「君には此の陳列の意匠が分るかネ、ナニよくは分らなかつて、そんなら説明して聞かすう、そも此の御園化粧品は、平安藤原時代の太平な御代に於て、長き遊りを始め奉り上流やんごとなき際の人々が、御遊らせらるゝときは用ひさせ給ふ船にして、中右近古の龍首などの比ではなく、善美を盡した龍首形で、香味堂など、素人は見てもあらうが、この棚は同じ平安藤原時代の形を取つたもので、何處までも古代太平の象を寓した意匠である、成程商品が御園といふ優美な名稱である上に、長き遊りの御料となつて居るだけ、その飾付が古代宮中に縁故のある意匠を案出したのは、大に嘆美せねばならぬ點である、また左方の小間物は、露の屏風といふであらうが、これも藤原時代の屏風をそのまゝ、象つたもので、それへ程よく商品を配置したのは、何といつても凝つた意匠で、而かも漆面倒具のないのが、氣に入つた處である、から説明してやつたら、君のやうな俗物にも、少しは分るだらうナ」俗物とは驚いたネ、モ少し何とかいひやうもあるだらうに」それから今見た前にあつた棚は何人の陳列かネ、さうだネ、見落したかネ」鬼に角行つて見やうか、それは

小林富次郎氏

の陳列で、右方に棚を設け、左方に山笠を

齋藤鐵太郎氏

それから前の淺井、内田兩氏の陳列に斜に對した處の角が、齋藤鐵太郎氏の陳列であるが、まづ棚を幾つとなく釣り、下を化粧室となし、棚の上に善美あふれる、同洗粉、香水等の商品を、程よく配列して、追らす、間の抜けざる處に趣きがある、これなどが、一つのハイカラ式から來た意匠であらう、エ君は之を評して「なかくよい意匠で、餘り凝つたとも覺えないが、何となく人目を惹く好意匠といはねはなるまい」といつて居た、

山本玉川堂、吉岡菊盛堂、泉松泉堂三氏の陳列

丁度南側の福原有信氏の隣りにある三氏の陳列は、右方半間を山本氏の陳列に充ててある、ニツケル花形の飾り臺に、プレスト洗粉、アーム磨の輸入と袋入とを配置し、上流飾り、一見樹枝にプレストやアームの花が咲いたかのやうで、エ君は之を評して「プレストとアームの近況を標榜して居る意匠と思ふも無理はあるまい、業界通たる君の語にも、たしかにこの品は、この飾りのやうに満開の時期に達して居るであらう、どうだ僕も觀察が家からうネ、隣りが吉岡菊盛堂の陳列で、上方に菊花を配つた地球儀を載せ、それへ菊盛と書いたのは、地球第一の意匠であらう、その下の三段の圓棚として、箱入、罐入、袋入等を陳列し、下にその解説書を立ててある、エ君は「此の意匠はなかく満洲したもの、地球第一は自負も大なるものである」と評して居た、

淺井碩成氏と内田幾太郎氏

の共同出陣は、角一間の棚を藤棚に見立て、一美人手に花籠を提げ、その籠の中に櫛、鏡、よき程に盛り、右手に花籠を捧げ、右方に淺井庭園、左方に内田庭園と二個の高札を立て、何處までも庭園式に出來して、正面から見ても横から見ても、一通りに見透かし得る、意匠で、櫛鏡を始め、各種の頭飾品を陳列してある、美人だネ、この櫛や鏡を使用すると、こんな美人になれるのかネ」とエ君のいつたのに乗じて「さうさう、この一廊内の化粧品で化粧して、この一廊内の頭飾品で頭を飾れば、これ以上の美人にもなるさう」といへば、矢ッ張我田引水先生の口物だネ、といつて笑ひ興じた、

佐野小兵衛氏

の陳列は同じ側の東角にある、一間の棚を體よく裝飾して、商品を成よく配列し、少しく左方によつた處へ、展覧観覽車を作つて、その柱へ水晶かしろと記し、車ごと同氏の商品を積み、徐々に廻轉する様子、眞物の観覽車以上で、殊に美しい裝飾が施されてあるので、花車の廻轉と相対つて美事なものであつた、エ君は之を評して「観覽車のお客の少なうのは、この方が美しいからで、観覽車のお客のあるのは、こんなに美しいのかと思つて、乗る氣にな人も出来るからであらう」といつて賞讃して居た、

泉松泉堂三氏の陳列

その隣りが泉松泉堂の陳列で、美顔料洗面香水たるセーネと、セーネ洗粉、セーネ水などを配して陳列して、上方は半身の裸體美人を掲げて居る、つまりセーネを使用するものは、この裸體美人のやうに美しくなることが出来るよの意匠であらうか、エ君は之を評して「自家商品の機能を具體的に説明した意匠である」といつた、

ズケン
請本馬京東
所吟馬京東
製三龍井武

薄薄 横濱市本町二丁目
荷荷 小田原市
油油 小林桂助

透明練香油
東京市本町三丁目 田中花王堂

模偽製品影敷に御注意
東京市本町三丁目 田中花王堂

鹿首香水
東京市本町三丁目 田中花王堂

容貌美御料カスガオイル
東京市本町三丁目 田中花王堂

扇問屋
御進物用御姓名入扇は勉強調製仕候
東京市日本橋區堀江町貳丁目
平谷合資會社
電話浪花千五百〇八番

ゴールデンオイル
最上の香油原料油無比ノ白絞代用油
東京市本町三丁目六番地
井上商會
電話浪花千四百八番
電話附金百四十四番七十九番

敷島
製造所
東京市本町三丁目
相馬帝國社
電話新橋八九七

煉香油ハ毛髪
ノ發育ヲ助ケ
美麗ナラシム
ル特功顯著也
煉香油ハ毛髪
ノ發育ヲ助ケ
美麗ナラシム
ル特功顯著也
煉香油ハ毛髪
ノ發育ヲ助ケ
美麗ナラシム
ル特功顯著也

當商報の廣告を見て廣告主と御取引の際は當商報廣告に依る旨御書添を乞ふ

開花六ク石鹸

本店 東京市下谷區上野町二丁目
西田嘉兵衛
東京市日本橋區横山町二丁目
西田支店
東京市日本橋區横山町二丁目
西田支店

畏内親王合殿御用
高等高油
高橋東
高橋西
高橋南
高橋北
高橋東
高橋西
高橋南
高橋北
高橋東
高橋西
高橋南
高橋北
高橋東
高橋西
高橋南
高橋北

店約特

東京馬喰町一平尾龍三
馬喰町三武井龍三
四丸見屋善兵衛
座佐々木玄兵衛
山町森本支店



酒井半二郎氏

の陳列は、北側の佐野小兵衛氏に斜に對した棚にあつて、商品の鶏玉洗粉の商標で三方を張り詰めて、中央に鶏玉、袋入などの洗粉を陳列し、下方に圓形の箱庭的に鶏玉洗粉を作り、その棚外に一羽の鶏が、鶏玉洗粉の袋と籠とを噛み、首を掻かせば、棚内の周圍にある鶏籠が、各自に鶏玉洗粉の各種を一品づつ、脚へて、周廻するのは、恰も養鶏場で、鶏籠が鶏籠を遊ばせつゝあるやうである、又君は之を評して「商品のもの、實價を示した意匠で、よい思ひ付きである、機械的作用も、亦なか／＼氣が利して居る」とした。

歐米巡遊 (その十二)

本組理事 佐々木玄兵衛君談
英國概観 (上)

日本人の何人でもが、歐洲大陸を漫遊して、殊に印度を経て初めて足を佛國又は伊國に容れ、それから各都市を巡遊した後に英國に入るものは、何れも深く旅行者自身に愉快に感じ、恰も第二の故郷へも歸つて来たやうな心地がせらるゝといふことは、たゞに私ばかりではなく、苟も一たび足をこゝに踏み入れた日本人が、異口同音に云ふ所です。

この如き設備の完全なのが、英國の今日の繁榮を來した理由ではあるまいかと思はれるのであります。一體一般の人情として、旅行をするといふことは、一寸出掛のものですが、英國などに居ますと、こんな交通の機關が揃つて居るので、巴里の商人が倫敦に支店を置いても、僅かに七時間費やせば、本店から支店に行くことが出来るので、自耳義からでも、獨逸からでも、僅々の時間で往來することが出来るのです。

園の文明國に對して、接觸せねばならぬ必要がありまゝです。自然大陸に通すべき門戶の發達を見ることも、大陸と大陸とが接觸する門戶たる位置を有して居るので、ドーバー、ハリッチなどは、最も主要な接點となつて居て、恰も日本の下の關ともいふべき位置に當つて居て、而かも大なる規模を有し、極めて見事な線となつて居るのであります。

ドーバーには、毎日八回の連絡船がありまして、佛國のカレーに通する線となつて居ますが、ハリッチには毎日一回の連絡船があるのみで、これは自耳義のアンタープと和國のフックに通する線に當てられて居るので、ドーバーは佛國を始めて、歐洲の各南部を旅行するもの、交通機關としては、無比の航路で、ハリッチはドーバーと反對に歐洲の北部に通する唯一の線路になつて居ます。

かくの如くに各國との連絡が密なることを知るに足るとも、是に由つて此處から倫敦に來るにも、巴里に往くにも、その停車場の時間表には、倫敦行とか、巴里行とか、伯林行とか記載して、その下に急行など、注意書がしてありまして、丁度山陽鐵道の馬關、神戸行などのやうに、連絡が附いて居るので、此の三つの線を始めとして、十幾線の航路があつて、英國の人が他に行くのにも、他國から英國へ來るのにも、些の不便を感ぜしめないので、丁度陸上旅行をするのと少しも違はない心地がせらるゝのです。

此の如き設備の完全なのが、英國の今日の繁榮を來した理由ではあるまいかと思はれるのであります。一體一般の人情として、旅行をするといふことは、一寸出掛のものですが、英國などに居ますと、こんな交通の機關が揃つて居るので、巴里の商人が倫敦に支店を置いても、僅かに七時間費やせば、本店から支店に行くことが出来るので、自耳義からでも、獨逸からでも、僅々の時間で往來することが出来るのです。

から、かういふ自由も利き、隨つて金儲の機運に在るやうに、恰も一國と同様で、大陸と英國との關係が密になるばかりなのは、確かに交通機關の完備といふことが原因になつて居ると思はれます。之を觀て日本の交通機關のいかんを反省しますと、京釜鐵道の連絡線のみは、やゝ見るに足るものがありますが、上海間の航路に就いては、尙ほ一考、否、再三の考案を要するものがあらうと思つて居るのです。

且つこの各航路は、旅客専用の船で、速力も早く、設備も完全に居ることは、實に驚くべきものであるのです。かのドーバーとカレーとの間を航する船には、音楽隊と食堂とがあつて、船中で旅客が結婚の式を挙ぐることも出来るやうになつて居ます。が、ハリッチ線の如きも、一時に六百人の一等旅客を收容することの出来る設備と、婦人専用室もありまして、この二つの連絡線は、いづれも鐵道會社の經營で、各自に自分の會社線に多くの客を引かうといふ計畫からしたもので、丁度山陽鐵道が、自分の社線に客を引く爲めに、かの連絡線を開いたのと同様であります。(つゞ)

小枝子

陸奥國 近藤 南嶺

妹の小枝子は、當年七歳である。今日も學校から、退ると、僕の室へ來て、机の上で、遊んで居るのに、武骨漢たる、僕は、情の一言も、かけてやらぬのみか。今や「櫻花園の苦吟」中、うるさいから、怒鳴りつける。防衛して、行儀を正しくするので、堪らず、兩手を握つて「小枝子、お前、頂戴僕が怒つた」と云ふて謝罪すると、安心した顔をするので、妹には「お前、涙を見られるのが、折々である。小枝子は僕を如何と思つて居るから。」

櫻花園 近藤 芳次郎

櫻花園は、春の深間より、夜はほのかと明けわたる哉、迷ひ入る人なかりせは、りぬだに、深山のさくら誰れか惜まし。

明透 純良ルナ良純
祝鶴石鹼
不ケムスオイル (香油)
東京 堂王龜

元五山 堂王龜
天 堂王龜

明透 純良ルナ良純
祝鶴石鹼
不ケムスオイル (香油)
東京 堂王龜

元五山 堂王龜
天 堂王龜

明透 純良ルナ良純
祝鶴石鹼
不ケムスオイル (香油)
東京 堂王龜

元五山 堂王龜
天 堂王龜

屋和大 町塩通京東

東京市日本橋區通町十二番地
東京化粧品俱樂部
電話浪花二五四一



ヘルツ大博士の方劑

商標登録の必要



▲我國の商人間には商標に関する概念が充分分得られて居ない、商標登録が自家の商品を世間に表示し且商標権を保護するに最も大切なものなることを充分に會得して居る人は稀いと思ふ、従つて商標の登録を出版する人も意外に尠く、明治三十二年七月商標法が制定公布せられて以來昨年までの件数は二萬三千六百二十七件で、一ヶ年平均三千六百三十四件餘に當り、更に一ヶ月平均を取ると三百〇三件弱にしか當らぬのであります、然るに昨年頃より出版件数が毎月四百七十件より五百件以上に達するやうになつたのは、一は世人が商標登録の必要を感ずるの度が多くなつたのと、一般商業が發達したのであらうと思ふ、依つて此際商標登録の必要を話して世人をして一層の注意を喚起するの必要は、勿論のことです、

▲依つて商標は一品と他の商品とを區別する點で、一例を擧げて言へば同じ標記でも積印の標記と商標とは商標に於て自ら差異あり、及び實に於ても差異があると云ふことが出来る、即ち一は些しの温度を含んで居らぬものと、他は軸が堅くて火の付が宜いと云ふやうに同類の商品でも多少の差異がある、茲に於て買入人は商標に依つて其の商品の特色を標別して買入事になる、若し商標が無ければ標別が付かぬ、在つても登録がなかつたならば忽ち模造品が出来て本品の信用を維持する事が出来なう以前交通の不便な時代には一人が一市、町、村と云ふ極めて狭い區域内で商標して居たものであるから、客も同一の商店に就て買入事も出来れば、商標が無くとも甚しき不便を感じなかつたので、此時代には於て夫れで居たのであるが、今日日やうに東京に京都、横濱に神戸、長崎に漢口と交通機關が發達して天涯比隣の如

き状態になつては、商品の需用者は同一の店鋪で買入事が出来ず、商品も數人の手を経て各地に商賣はれるやうになり益々商標の必要を感じ多少の差異のある商品、例へば猿の商標の商品は價も廉く品質も良くと云ふので買入が良くなれば、直ぐ猿の商標を真似て奇利を貪るものが出来るので、商標権を保護するの必要を生じ、各國の政府が特許局を置くに至つたのであります、

▲乃で一國內には特許局を置いて特許、商標、意匠、實用新案等の獎勵を爲し、國際間では條約を以て互に特許権を保護する事になり、我國でも英米各國と特許保護條約を締結し今又支那朝鮮に對しても條約締結の交渉中であるので、之に依りて各人の特許権を保護して利益を享けしむると共に公衆として一定のものを購求し得る途を啓き、公益を計りつゝあるのです、それで以前は商標がなくとも商賣が出来たのが今は商品を買入事も買入事も出来なくなつた、又商品の種類が多くなつた時代は商標の必要も感じなかつたのが、商品の種類が多くなつた今日では益々其の必要を感じ、商品の性質に依つても性質の度が異なり、或は性質が判らぬもの等には一層商標の必要が起つて来たのです、就中化學品、糖類、牛乳、製菓、葡萄酒等には商標が無ければ買入事が出来ぬ石鹼なども同様で句は判るが皮膚の荒れるか荒れないかは判らぬ、保存の點、腐敗するかどうか判らぬ、コンデンスミルクでも其通りで、商標が無ければ安心して買入事が出来ぬ、品種の一寸見て判らぬものは同様です、

▲次に商標と商號との區別です、これは世人の多くは誤解して同一視して居るが非常な間違です、商標は特許局に於て登録するものであつて一町村を限られて居るものである、而して商號と商標とは文字の示す如く異つて居るに拘らず、地方では商號の登録を受けて居れば商標に使用して保護して貰へると思つて居るのです、之が間違の元

で、商號は商標として保護を受けるは勿論であるが、同時に商標として保護を受けることは出来ない、而かも商標は範圍の狭いもので屋敷の證であるから甲が一の屋敷を商號として登録して居ても乙が商標として登録したならば乙は甲の商標專用權を差止る事が出来る、結局商號は屋敷の證で屋敷にのみ付ける事が出来るが、商標は屋敷にも、引札等にも自由に付ける事が出来るのであるから、商人は此區別を明かにして自己の信用を保護することが肝要です、

▲次に商標と特許との區別である、之は理屈としては判つて居るが存外蓋着して居る、特許は發明品に對する專用權で、商標は在觸れた商品に專用する事が出来るから何れ新しい品に限居らぬ、特許の方は古いものは許さぬが商標は構はない、そして商標は場合に依つて殆んど特許と同じの効力を持つて居る事がある、例へば獨逸では藥品に特許を許さぬ、日本も同様である、之れは藥は生存上必要で何人も製造し得る事となつて居るからで、獨逸では新藥に對して發明者が特別の名を登録する事を許して居ます、例へばキニーネの代用品たるオイヒンは中毒の患が無くので良藥であるから需用が多い、併し藥品に對しては特許を許さぬ代りオイヒンなる名稱の登録を許して其の利益を保護し、他人をして同一の藥品を製造し得るも同一の名稱を付する事を許さぬ、日本には此の規定が無いから他人の發明したもので未だ世間に名の知れざる内は名稱の商標登録を受けることが出来る、左すれば買入人は利益を受け、買入人も間違はないものを買入事が出来るから、若し斯る必要を感ずる人は是非其名の知れぬ内登録を必要とします

赤門白粉

赤門おしろいは博士方々開ける赤門派の研究に依つて出来たる最新最良無鉛無毒の白粉なり、色艶とのりよきとは赤門白粉の特色なり

東京馬喰町 花王石鹼本舗
長瀬富郎
電話浪花三三三

信文袋卸問屋

信文袋卸問屋 信文袋卸問屋 信文袋卸問屋

THE GEM

氣分を爽快ならせ、去る酸臭を能く、口臭及口臭を去る、馥郁な芳香を放つ、

山崎榮三郎
支店 大塚 山崎兄弟商會
支店 池袋 山崎兄弟商會
支店 有明 山崎兄弟商會

乃木ムスシ石鹼

製造本舗 東京 西條

乃木ムスシ石鹼は品質の善良なる芳香の佳良なるは一度使用せし人の忘るゝ能はざる所なり、又其の一個毎に大は一錢小は五厘に引替得べき包紙を添付し有るを以て特色となす

定價 (大形) 一ケ二十錢
(小形) 一ケ十錢

東京市日本橋區通三丁目
發賣元 丸善株式會社

製善丸 きかみは丸の日

偉人と迷信 (七) 無答



偉人と迷信 如何なる天才も如何なる豪傑も全く迷信思想を其腦裡より拂拭し去る能はざるもの、如く人間の歴史に新紀元を劃せる幾多の偉人物も終始或一種の迷信思想に支配せられたること不思議なれ。

▲彼の不徳の二字は愚人の字書に於てのみ之を見ると豪語して雄心落々山の如くなりし不出世の英雄奈波列翁一世の意氣を以てして猶且つ縁起を擔ぎ星を信ずる點に於て村煙の痴態を脱すること能はざりしこと可笑しけれ。奈波列翁は終生人の運命は其人に付録する星の左右する所なる確信して流らざりしもの、如く其副官のトップ將軍がダンツツの包圍より還りし時彼は仰いで天を望み佇立凝視すること久しかりしが忽ち一の大なる赤き星を指して「見よ! 彼の星を、何ぞ夫れ赫灼燦爛たる、彼の星は我が星なり、彼の星は汝の眼前にあり、見よ! 其離離たる光芒! 大なる事件起る前に彼の星必ず顯はれて我れに吉兆を示す我れ勝てり、汝進め! 我れ亦次がんと全く我れを忘れて所置三舞せりと云ふ。奈波列翁又露國への進軍に際して露國の境界に近かきニムール河邊に於て馬上兵を檢せる際馬驚き逸して砂上に墮落つ、奈波列翁は幸にして微傷も負ふことなかりしが深く憂愁に沈める後嘆息を洩らし羅馬人ならしめばかゝる事ある時には軍を引揚たりしならんと副官に語れりと云ふ。又嘗て埃太のナイル河にて伊太利號なる一隻の端艇の爲に破壊せられて數人の乗組員屠殺せられたりと云ふ報に接したる時奈波列翁は憂色を眉宇の間に顯はし嗚呼伊太利は破壊せられたりや獨語せりと云ふ。

▲奈波列翁三世の如きも敢て其叔父の血統を引きしが爲と云ふ辭にあらねども是れ亦星下者の運命を信ずること深かりき、彼れがメシキコ事件に干渉して大失敗を演じたるも米國星下者に買られたる爲にして又早くメシキコより撤兵せしめて失敗に失敗を重ねるに至りしものは米國の星下者が彼のマキシミアンの肖像より常に燦爛たる五光放射しつゝあるが故に必ず大なる成功を爲すべしと言へる甘言に惑はされたるに依る。

▲露國皇帝ニコラス二世陛下も亦大なる米國下者の信徒に在しませし由にてオド、ラッセル卿の告ぐる所に依れば米國の卜者が若て皇帝に露國駐劄の某英國外交官の目付は不吉なる故、近づけ玉ふと勸め奉りしより其外交官は其後露帝に謁見を許されざるに至れりと云ふ。現皇帝の父帝アレキサンダー三世も亦頗る卜好にましまして御旅行の際なども必ず卜者に其吉凶を判斷せしむるを例とせられしが或時卜者に其日の得難き吉日なるを聞きて旅立せられしに無黨の爲に帝の召せる汽車破壊せられしかば直ちに其卜者を西比利亞に放逐せり。

▲以太利の前皇帝ウエンベルト陛下も亦不思議なる迷信を懐かせられ常に惡魔拂と稱して寶石(反獨斷)の賜に於て結石を鑲めたる魔環を着けさせられたりと云ふ。

疑りたる食卓
米國フイラデルフィア出身にして目下露國維納府に住めるカルデツツア夫人なる人は此程同府に於て頗る珍趣向の晩餐會を催ほし大に交際社會を盛がしたるよし當夜の食卓は圓形にして直徑十八呎、真中に池を設けて魚類と小魚を放ち青銅製の陸臺の上に小女の塑像を立て、池中に水を注ぎ食卓の周圍には六株の薔薇を植ゑ其れに薔花もて作れる蛇を垂れ蛇の眼はルビー色の電球を用ひ薔花の中にはカナリヤの籠を偲ばせ巖間の樹木に懸けたる各種の鳥と共に其の囀聲に與へ掛けしむる趣向にして晩餐後無隣并に園引の催しあり首長克く園を引き中てたる者は白鼠の水晶の籠に入れたるを受けたりと云ふ。

流行の指環の注意
金剛石、紅寶石、碧精玉と言へば以前は貴婦人社會に稀に見る貴重品の裝飾品なりしが今は中流以上の婦人達の胸の隅の隅に星の光りを曳かせる交際舞臺の入りたる資格なきやうになり寶石の指環禁止等二三つ有たぬはなき有様となりぬ、生活の程度高まりて斯うなれるか、裝飾術が進める爲に生活程度幾分か上れるか、其點は何れでも關はぬけれど、五六百圓の指環がドシク賣行くと、誠し素晴らしき母案と云ふべし、格何物に限らず好き物ほど模造せらるゝが、總ての事業の通則なれば、寶石類に如何はしき物多きは當然の事にて又是は需要者の目利き出来る事と云ふべき商人が誤魔化しの出来る事も亦言を俟たず然あれ、誤魔化さるゝは災難と言ながら、眞物を見ぬかして得意がるは、偽物の幅を珍重して、天晴れ眞實の眼を誇る似而非骨董家同様、大に人に品を下る次第なれば、流行を追ふ婦人達の注意すべき事なり、其處で一般に言ふ寶石の種類なるが、金剛石は質の誤魔化し利かぬもの故、滅多に偽造品なけれど、紅寶石は十中八九は眞物に非ずと承知せらるべし、碧精玉も、紅寶石と同様に見極め難なるものなれば、是と大抵模造と見て差支なからん、サファイヤと眞珠とは、有觸物とも云ふべき程故、無輪模造などあるべからざれと上玉と稱するものは、千顆中僅に二三を數ふるに過ぎざるべし、以上の各種を流行の廣さに於て記せば、金剛石を第一として、次に眞珠、碧精玉とサファイヤとは數少き故、流行と云ふ程にはならず、紅寶石は眞物稀なる故、格外と見るが至當ならん、應用の種類は、指環に最も多く、次ぎは帶止、ビンの裝飾品など、其餘圓中や散りけり、價の高き物は、大抵指環に用ひらるゝ也、産地を言と金剛石は亞非利加が世界一の産地にて、我國へは多く米國商の手により、輸入せらるる又眞珠は、日本が世界第一にて沿海各地に産せらるゝが、其中に大村、伊勢、長門の産が最も佳なり、金剛石は純透明のもの程價高く、茶色か、緑色の品も劣等にて、眞珠は色澤よく光澤麗しく、完全なる圓形の物を最上とするなり。

疑りたる食卓
米國フイラデルフィア出身にして目下露國維納府に住めるカルデツツア夫人なる人は此程同府に於て頗る珍趣向の晩餐會を催ほし大に交際社會を盛がしたるよし當夜の食卓は圓形にして直徑十八呎、真中に池を設けて魚類と小魚を放ち青銅製の陸臺の上に小女の塑像を立て、池中に水を注ぎ食卓の周圍には六株の薔薇を植ゑ其れに薔花もて作れる蛇を垂れ蛇の眼はルビー色の電球を用ひ薔花の中にはカナリヤの籠を偲ばせ巖間の樹木に懸けたる各種の鳥と共に其の囀聲に與へ掛けしむる趣向にして晩餐後無隣并に園引の催しあり首長克く園を引き中てたる者は白鼠の水晶の籠に入れたるを受けたりと云ふ。

疑りたる食卓
米國フイラデルフィア出身にして目下露國維納府に住めるカルデツツア夫人なる人は此程同府に於て頗る珍趣向の晩餐會を催ほし大に交際社會を盛がしたるよし當夜の食卓は圓形にして直徑十八呎、真中に池を設けて魚類と小魚を放ち青銅製の陸臺の上に小女の塑像を立て、池中に水を注ぎ食卓の周圍には六株の薔薇を植ゑ其れに薔花もて作れる蛇を垂れ蛇の眼はルビー色の電球を用ひ薔花の中にはカナリヤの籠を偲ばせ巖間の樹木に懸けたる各種の鳥と共に其の囀聲に與へ掛けしむる趣向にして晩餐後無隣并に園引の催しあり首長克く園を引き中てたる者は白鼠の水晶の籠に入れたるを受けたりと云ふ。

疑りたる食卓
米國フイラデルフィア出身にして目下露國維納府に住めるカルデツツア夫人なる人は此程同府に於て頗る珍趣向の晩餐會を催ほし大に交際社會を盛がしたるよし當夜の食卓は圓形にして直徑十八呎、真中に池を設けて魚類と小魚を放ち青銅製の陸臺の上に小女の塑像を立て、池中に水を注ぎ食卓の周圍には六株の薔薇を植ゑ其れに薔花もて作れる蛇を垂れ蛇の眼はルビー色の電球を用ひ薔花の中にはカナリヤの籠を偲ばせ巖間の樹木に懸けたる各種の鳥と共に其の囀聲に與へ掛けしむる趣向にして晩餐後無隣并に園引の催しあり首長克く園を引き中てたる者は白鼠の水晶の籠に入れたるを受けたりと云ふ。

於に會進共二五念紀旋凱
す領受牌銀歩進

石 ンリマルホ
嶮 星 せ
嶮 星 せ

丸善株式會社
東京市日本橋區通三丁目

市内特約店

- 丸見屋商店 柳下藤五郎
- 平尾 贊平 佐野 小兵衛
- 田中 吉兵衛 淺井 支店
- 仲 徳次郎
- 藤田 盛貞堂 齋藤 吉次郎
- 天野 磯五郎 齋藤 鐵太郎
- 長瀬 富郎 大野 金五郎

高等化粧用
色を白く
キメ技よくする

二八水

東京馬喰町長瀬

長クモ 久邇宮妃殿下御買上ケ、榮ヲ賜フ

顔オペラ之香水

小大瓶 一圓八十錢
日本橋區米津町一ノ一
鳳舞園

芳香耐久美顔ノ三能優絶頂に香水界の大王なり
自賞は取るに足らず本品は試用諸君より感賞を承ふること非常なり

最良の卵
衛生と終
済を兼
ねたる
良品なり

石 嶮

井 淺
京 東



のびれの
織物の
香の
本品の
全長
主は
あや

粉白ケニ

店本井淺 町橋京東

針問屋

東京市大傳馬町二丁目

住吉屋

上田長右衛門

スレース
羊ムスク



石鹼
馥香
商標

清水開花堂

東京日本橋區横山町

はゆり
まみのも

名産
白松

製

佳入夜話 (七)

米國に於て 華山 生

米國の佳人は、重きを家政に置かず、其社交に長ずるに非ず、表情の術最も巧みにして、顔の全面積、常に一種の波動を起しつゝあり、間々俳優に就いて之を學ぶものありといふ、試みに物を贈らんか、其之を感謝するに、贈りたるものをして赤面せしむる程の世辭をいふ然れども其親切りにして、後日に至りては、暖氣にも出さぬなり、蓋し『又もらひた』と思はるゝを避くるならん歟

米國に於ては、男女の交際甚だ自由なり、而して其往訪は大抵次に於て、日本人が米國に在りて、佳人と交際するや過度に禮を修飾し、過度に言語を丁寧にし、宛も天使に對するが如く、恐縮至極の態度に出づるを以て、向ふも迷惑、此方も迷惑、相互、往々要領を得る能はずして、巴を常とす、日本人の米人に贈る書簡、殊に馬鹿丁寧なり、米人之を日本人のフタコリ、イングリッシュ (Flowerly English) と云ふ、米國は萬事商業主義なり、簡易直截を尚ぶ、我日本人何故に是の如き耶、左に掲ぐるは一佳人の談に非ず、多くの佳人の談を總括したるものなり、少くあり、老練あり、夫人あり。

加へんでも商業主義ですからぬエ

脚から風を引きました、夫れはさうとね

私は昨夜眠く急用で起され、靴を穿かすに、門口に出で家と話しをしましたものだから、脚から風を引きましたよ

米國の佳人は、脚から風を引くといふ、彼等は床を離れてより床に就くまで、靴を穿く、夫れだから素足になると直ぐに脚から風を引く、日本の婦人が裾から風を引いたといふが如し、其脚の弱さ知るべし

米國の佳人は、脚から風を引くといふ、彼等は床を離れてより床に就くまで、靴を穿く、夫れだから素足になると直ぐに脚から風を引く、日本の婦人が裾から風を引いたといふが如し、其脚の弱さ知るべし

頭が蒸れるのでせう、其は醫師にも分りませんから、髪にも分りませんよ、然かし御承知の通り、亞米利加の男は一體に髪が柔か上下、不斷帽子を被りますから、頭の中が蒸れて髪が無くなるのでせう、先頃或る米國の貴婦人の御手紙の中に、大層美人の御自慢があつて、Regular-featured Americans と書かれてましたから、右の御返事、Regular bald-headed America と書きました。夫れ日本服は寛濶で衛生上大層善いと思ひます、今に亞米利加人は身中に毛が一本も無くなりません、然かしさうなると夫れが人類進化の極で、矢張り

「風を引くから」といふは、夫れから私には頭を撫で、私の頭には此通り髪をいふので作つた帽子があります」と答へました、夫れに去年の夏、一夕或る富家を訪ね、其庭を散歩しつゝ、談をして居ました、右の富家が「蚊に喰はれるから遠慮な、帽子を被り玉へ」と言はれました、何故か、亞米利加の男の頭は、アンナに劣るのでせう

頭から風を引く、貴婦人は脚から風を引きますか、引きますとも、引きますとも、男は頭から風を引きますよ、其は又何故、旦那御覽の通り、亞米利加の男は頭が皆禿げて居るではありませんか、メズヘルト嬢の御嬢さんも、禿頭ではありませんか

頭を蚊に喰はれる、さう仰れば何時ぞや或紳士に内談があつて、其事務所の別室に案内されました、此處は室に火の氣がなのです、紳士は自ら帽を被り又私に勧め、

頭から風を引く、貴婦人は脚から風を引きますか、引きますとも、引きますとも、男は頭から風を引きますよ、其は又何故、旦那御覽の通り、亞米利加の男は頭が皆禿げて居るではありませんか、メズヘルト嬢の御嬢さんも、禿頭ではありませんか

亞米利加人は第一の文明人種です、一、結婚は平均三十歳、何故女が早く結婚しないつて、出来なさいやありませんか、かう女が多かつちや、昔は二十歳位で結婚しましたが今は平均二十八歳から卅歳です、出産率が減つて、さうです、減ります、其代り一粒選の子供を持てば善いではありませんか

寡婦の勢力、貴君は No man can escape it. といふ諺を知つて居ますか、知りません、イヤ寡婦のチャイミング、ハワーに會つては、男子は兎も通れられないといふ諺なんです、妾達未婚のもの、どうして男子の機嫌を取つて善いかを知りませぬに、寡婦は夫れを能く知つて居りますから、寡婦の手管に會つては、男子は避けられないのです、デューニ提督も寡婦に降参したではありませんか

不思議と不思議との衝突、不思議ですね、日本の男は再婚の女が嫌ひだつて、社會を知つて居る、家政も知つて居る、男子を扱ふ道も知つて居る、再婚の女は善いではありませんか、夫れを日本の男が嫌ひだつて、不思議ですね、亞米利加では初婚の男が再婚の女が好きですつて不思議です、夫れ、佳人が、不思議ですね、余曰く、不思議ですね

新夫の前で前夫を讃む、妾は波斯語に一人の友達があつて、今年三十ですが、二度結婚しました、新夫の前で、前の夫と比較されるのは、新夫も多少困つて居るので、そんな處から、日本の男は再婚二婚の女を嫌ひますか

伊太利旅行は、余に一種の不幸を與へたり、其時まで、余は、我が既に成し遂げたる事業を顧みて、常に満足の心の起るを樂に能はざりし、彼の旅行の爲め、此の満足は減つた、何となれば、伊太利は、余の見識を高くし、余をして、過去の著作に類したる情想の、興を感ぜざるを得ざるに至らしめたはなり、之れと同時に余の著作の速力は著しく減じたり

伊太利旅行は、余に一種の不幸を與へたり、其時まで、余は、我が既に成し遂げたる事業を顧みて、常に満足の心の起るを樂に能はざりし、彼の旅行の爲め、此の満足は減つた、何となれば、伊太利は、余の見識を高くし、余をして、過去の著作に類したる情想の、興を感ぜざるを得ざるに至らしめたはなり、之れと同時に余の著作の速力は著しく減じたり

伊太利旅行は、余に一種の不幸を與へたり、其時まで、余は、我が既に成し遂げたる事業を顧みて、常に満足の心の起るを樂に能はざりし、彼の旅行の爲め、此の満足は減つた、何となれば、伊太利は、余の見識を高くし、余をして、過去の著作に類したる情想の、興を感ぜざるを得ざるに至らしめたはなり、之れと同時に余の著作の速力は著しく減じたり

東京星野の人造麝香

近來種々の廉製品あり注意の上御求め

星野與兵衛

登録商標御注意を乞

伊藤大太郎

煙管問屋

時計クサリ一式

各種

致ベク候

芳香原料

見本函發賣

定價甲種五圓五十錢、乙種四圓五十錢、丙種二圓五十錢、外に各種壹圓付 (小包料金拾錢)

尚ほ芳香原料定價表は御入用にて應に御送附可仕候

東京日本橋區本石町四丁目

芳香原料 松澤常吉

振替口座四四四七番

特電本局一四五番

中村新十郎

香水用○石鹼用○白粉用○香油用○齒磨用○煉油用○洗粉用○製菓用○インキ用○造花用○化粧水用○其他

博愛赤十字會

本社 所本 嶼村

社興整村并

東京



寫眞の撮し方

御婦人方ならば、寫眞を撮すに於て、先づ注意すべきは頭髪... 第二は化粧の仕方である、お白粉は厚く塗り過ぎない方が宜い...

佛國の婦人は、自分の舉動中最も美なるのは何の姿勢であるか云ふことを、よく自覚して居て... 自然の容を離れぬ様にしなければならぬ...

金の計算に五十日を要す 米國政府の紐育金庫局長ハミルトン、フイツシ氏は此程任期満ちて更に四年間留任することとなりたるが...

Winn's Stone Lotion 熱心の愛用諸君は冠たる事を知る、故に聯合發賣東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

スミレ白粉 本邦衛生試験所... 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

團扇景品付クリーム石鹸 大工場と鑛山 應急工アルボース

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

白粉 高糖 糖化糖料 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

パール石鹸 日乃出はがき 聯合發賣 東京小問物化粧品組合

